Let Language Be Your Wings To The World

～言葉を究めて世界へはばたく～

大阪大学
外国語学部

OSAKA UNIVERSITY School of Foreign Studies

2021

言葉を究めて 世界へはばたく

外国語学部長あいさつ

外国語学部の前身は大阪外国語大学ですが、そのさらに前身は官立の大阪外國語学校です。同校は、「大阪に国際人を育てる学校を」と思い描いた大阪の実業家、林竹三郎氏の遺志を受けた妻の林蝶子氏による寄付を資金に、1921年に大阪市内の上本町八丁目に創設されました。当初、学年定員200名、専攻言語は9言語という規模でしたが、その後、大阪外事専門学校（1944年改称）を経て国立大阪外国語大学（1949年）へと発展を遂げました。1979年には上本町から箕面市粟生間谷へと移転して組織を拡充し、2007年10月に大阪大学と統合して現在の大阪大学外国語学部の姿になりました。現在は学年定員580名、専攻数は25言語を数え、大阪大学の文系学部で最大規模を誇っています。また、外国語学部を有する唯一の国立大学法人として大阪大学を特徴付けています。

昨今、大学世界においても「グローバル人材の育成」という表現が取り上げられる機会が多くなっています。本学部は創設当初からそれを目的としてきました。ただし、「グローバル人材」についての世間一般での認識と本学部での認識は異なっていると言えます。世間一般では、おそらく国際的なビジネスシーンに通用する言語運用能力を身につけている人材として理解されることが多いでしょう。しかし、本学部が育成を目指すグローバル人材とは、高度な言語運用能力―しかもそれは英語に限りません―を習得するだけの表層に限定することなく、専攻語地域のジェネラリストとして、外国の言語とそれを基底とした文化を理解する力を身につけた人のことです。多種多様なシーンにおいてその能力と知識を活用できる人材、換言すれば、深層の異文化理解力を有する人材にほかなりません。

外国語学部は2021年に創設100周年を迎えます。大学に求められるグローバル人材の育成は、外国語学部にとって大阪外國語学校の創設以来のミッションです。大阪外国語大学時代に蓄積された経験と実績は、大阪大学全体におけるグローバル人材の育成にも十分に活用できるものと信じ、大阪大学におけるグローバル人材育成の範たる学部でありたいと思っています。

大阪大学 外国語学部長　**竹　村　景　子**

外国語学部とは

本学部の教育は、一般的な町中の語学学校のそれとどう違うのでしょうか。教授される言語の多様性や水準の差だけなのでしょうか。この疑問に対する答えは、本学部規程の第1章総則に、「…外国の言語及びそれを基底とする文化一般について理論及び実際にわたって教授研究し、国際的な活動をするために必要な広い知識及び高い教養を与え、言語を通じて外国に関する深い理解を有する有為な人材を養成すること…」と明確に記されています。つまり、教授される言語を単にコミュニケーションのためのツールとして学ぶだけではなく、専攻言語とそれが話される地域の文化や社会について多角的な視野から総合的かつ相対的に理解する能力、言わば異文化理解力を身につけ、それを国際社会という舞台で発揮できる人材を育成することを目的としているのです。

各専攻語では、入学年次から卒業年次までの一貫した言語教育を提供することはもちろんのこと、言語分野、文学分野、歴史・社会分野をいわゆる「3本柱」（専攻言語によっては政治・経済分野を含めて4本柱）として、専攻語地域のジェネラリストを育成すべく、各学問分野の方法論に基づいた専門的な授業を提供しています。外国語学部の「学び」は、言語研究と人文社会的地域研究の成果を融合させた言わば「言語地域学」あるいは「語圏学」であると言えます。「言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ Culture Through Language, Language Through Culture」という学部教育のモットーはまさにこれを象徴しています。

本学部では、大学間学術交流協定や部局間交流協定に基づく交換留学などの公費留学のみならず、様々な私費留学制度の情報を収集・提供することで、学生の海外留学を応援しています。実際に、毎年400名近くの学生が、授業を通して習得した高度な外国語運用能力と外国に関する幅広い知識、異文化理解力をさらに向上させるべく、世界の各地で海外留学を経験しています。海外留学の経験は、学んだ知識と個人的体験とを若い感性で有機的に結びつける絶好の機会であり、そうして得られた個々人の国際感覚こそが異文化理解にとって重要であると考えます。

キャンパスでの授業ならびに留学などの海外経験で得た知識やスキルを活かして、広い視野と客観的な洞察力を持った国際人として社会で活躍する卒業生が少なくありません。それが外国語学部の強みであり、誇りであると思っています。

外国語学部のあゆみ

1921年（大正10年）　大阪外国語学校創立
1944年（昭和19年）　大阪外事専門学校と改称
1949年（同　24年）　大阪外国語大学設置
1979年（同　54年）　箕面市粟生間谷に移転
2007年（平成19年）　10月1日、大阪大学と統合

CONTENTS

外国語学部長あいさつ …… 1
外国語学部とは
外国語学部のあゆみ
ネイティブ教員からのメッセージ …… 3

専攻紹介（P5～29）をご覧ください。

各専攻のアドミッション・ポリシーを
それぞれの紹介ページ冒頭に記載しています。

各専攻紹介のページでは、冒頭に「こんにちは」を意味する言葉をそれぞれの言語の文字表記で載せています。

アドミッション・ポリシー …… 30
外国語学部のカリキュラム …… 31
就職状況 …… 32
交換留学制度 …… 33
卒業生からのメッセージ …… 35
箕面キャンパス所在地経路図 …… 37
箕面新キャンパス紹介 …… 38

ネイティブ教員からのメッセージ

郭　修静先生

中国語 専攻 P5

初级汉语学习的要诀就是加强口部运动，
让我们一起学习汉语吧！
中国語はスポーツです。
一緒に中国語を勉強しましょう。

趙瑜美先生

朝鮮語 専攻 P6

한국어를 즐겁게 배워 봅시다.
韓国語を楽しく学びましょう。

バヤルサイハン先生

モンゴル語 専攻 P7

Монголын өвөрмөц нийгэм ахуй, түүх,
өв соёлын өнгөрсөн,
одоо, ирээдүйд нэвтрэх үүдийг нээж,
монгол хэл сурцгаая.
モンゴル特有の社会様式、歴史、文化遺産の
過去・現在・未来に通じる扉を開き、
モンゴル語を学びましょう。

ドゥウイ・プスピトリニ先生

インドネシア語 専攻 P8

Bahasa Indonesia adalah pintu masuk untuk mempelajari budaya Melayu di Asia Tenggara dan juga budaya suku-suku bangsa di Indonesia yang tersebar dari Sabang sampai Merauke.
インドネシア語は、サバンからメラウケまで広がるインドネシアの様々な民族の文化、また東南アジアのマレー文化を学ぶための扉です。

サマール先生

フィリピン語 専攻 P9

Isang paanyaya sa isang buong bayan at kasaysayan ang pag-aaral ng wika patungo sa pagkakaunawaan at pagkakaisa.
相互理解と絆の構築を目的とした外国語学習が、
当該国の現在や過去を知ることにつながる。

マリワン先生

タイ語 専攻 P10

เรียนภาษาไทย เข้าใจสังคมและวัฒนธรรมไทย
タイ語を学び、タイの社会と文化を
理解しましょう。

ト一先生

ベトナム語 専攻 P11

Quan hệ Nhật Việt ngày càng tốt đẹp
Hãy học tiếng Việt và nắm bắt cơ hội.

日越関係はますますよくなっています。
ベトナム語を学んでチャンスをつかみましょう。

テッ テッ先生

ビルマ語 専攻 P12

မြန်မာစကားပြောကြရအောင်လား။

ビルマ語を一緒に話しませんか

ヴェーダ先生

ヒンディー語 専攻 P13

हिन्दी सरल एवं प्रिय भाषा है|
सरलता एवं प्रेम से आओ, इसे सीखें|
ヒンディー語はやさしい言葉です。
気軽な気持ちで来てください。
さあ、学びましょう！

マルグーブ先生

ウルドゥー語 専攻 P14

اردو شیریں اور خوب صورت زبان ہے ۔
آئیے، اردو سیکھیں!
ウルドゥー語は甘美な言葉です。
さあ、ウルドゥー語を学びましょう！

エル・シャルカーウィー先生

アラビア語 専攻 P15

أنا البحر في أحشائه الدر كامن
فهل ساءلوا الغواص عن صدفاتي
われは海　沖つ白玉はらめども　海人に貝殻問ふ人はなし
(大意：海のように広大なアラビア語に秘められた真珠(白玉)のような美しさ、素晴らしさに気づいている人がどれほどいようか？(われ＝アラビア語))

レザーイー先生

ペルシア語 専攻 P16

چون شکر شیرین و چون گوهر زبان
پارسی ست
ペルシア語は砂糖のように甘く、
まるで宝石のよう。

アクバイ先生

トルコ語 専攻 P17

Türkçe sizlere yeni bir dünyanın kapılarını aralayacak. Hep birlikte Türkçeyi keşfedelim!
トルコ語は貴方に新しい世界を見せてくれます。
一緒に新しい発見をしましょう。

ザイナブ先生

スワヒリ語 専攻 P18

Tujifunze Kiswahili!
スワヒリ語を勉強しましょう！

シピトゥーニナ先生

ロシア語 専攻 P19

Умом Россию не понять,
Аршином общим не измерить:
У ней особенная стать —
В Россию можно только верить. *Ф. Тютчев*

頭では ロシアは理解 できぬもの　共通の 物差しをして 測れぬもの
ロシアには 独自固有の 立ち姿　ロシアとは 信じることしか できぬもの
チュッチェフ(井上幸義訳)

ポレ先生

フランス語 専攻 P25

Langue de l'architecture, langue de la musique, langue de la peinture, langue des sciences, langue de la littérature, langue de la philosophie, langue de la diplomatie, langue de l'olympisme, langue de la gastronomie et... langue de l'amour.
On a tous une bonne raison d'apprendre le français.
建築の言語、音楽の言語、絵画の言語、科学の言語、文学の言語、哲学の言語、外交の言語、オリンピックの言語、美食の言語 … そして愛の言語。
フランス語を学ぶ素晴らしい理由が誰にもあるのです。

コヴァーチ・レナータ先生

ハンガリー語 専攻 P20

Magyarul tanulni szórakoztató!
ハンガリー語は楽しい！

カルディ先生

イタリア語 専攻 P26

Ciao! Studiamo insieme l'italiano e scopriamo un paese ricco di storia, tradizioni culinarie e bellezze artistiche!
こんにちは!歴史、美術、美味しい食文化などの
魅力に溢れるイタリアを発見し、
一緒にイタリア語を学びましょう。

ラウリツ先生

デンマーク語 専攻 P21

At en litteratur intet sætter under debat er det samme som, at den er ifærd med at tabe al betydning.
議論なき文学は無意味に等しい。

フィナ先生

スペイン語 専攻 P27

¡Ven a aprender español!
Una lengua fácil que te abrirá el tesoro de muchas culturas en el mundo.
スペイン語を学びに来ませんか。
世界の文化という宝物を知ることができる
気さくな言語です

マリー・テリードッテル先生

スウェーデン語 専攻 P21

"Svenska språket öppnar dörren till det svenska samhället. Välkommen!"
「スウェーデン語はスウェーデン社会への
扉を開きます。ようこそ!」

デゼン先生

ポルトガル語 専攻 P28

Olá, sejam bem-vindos! Vamos estudar a língua portuguesa e aprender sobre cultura luso-brasileira!
みなさん、ようこそ！いっしょにポルトガル語を勉強し、
ポルトガル・ブラジルの文化について学びましょう！

ラッペ先生

ドイツ語 専攻 P23

Deutschland – Land der Philosophie
ドイツ　ー　哲学の国

儀利古　幹雄先生

日本語 専攻 P29

知っているつもりで実は謎が多い
身近な日本語・日本文化について
一緒に勉強しましょう

英語 専攻 P24

メイリー先生

My name is Ashlyn Moehle. I grew up in the United States of America, where I became interested in foreign languages from a very young age. It was at the University of California that I had my first encounter with Japanese. Here at the School of Foreign Studies, I teach classes that help learners strengthen and refine their use of English to expertly navigate and negotiate in communicative settings. I also lead reading and discussion classes that explore language at various levels of linguistic analysis, providing a glimpse into the dynamic and fascinating nature of a living language like English.

ホフメア先生

You have spent many years at school studying the English language. Now the time has come to start putting your skills to use (and this is the fun part!) In the discussion classes at our department, you will have the opportunity to learn how to discuss relevant and important issues as well as how to persuasively express and defend your own ideas and opinions in English. From the third year, you will be able to choose from a range of elective courses with a more academic focus. The courses that I teach, for example, introduce students to exciting fields such as sociolinguistics and political philosophy. Why not join the discussion?

ワッツ先生

Hi!
My name is David Watts. I am originally from the UK, but I have lived in Japan for over 10 years now. I studied Japanese and Linguistics at Sheffield University and have a Masters Degree in TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages) from The University of Bristol.
At Handai, I teach Academic Writing and English classes to undergraduate and graduate students, many of whom have either studied abroad or are planning to do so in the future. My English language elective classes examine Local and Global Issues, European Cultures and Societies and Japanese Cultures and Societies. My aim is help all my students improve their English skills and abilities in all these fields in a supportive and enjoyable atmosphere.
I'm looking forward to meeting you in class!

中国語専攻

你好（ニィハオ）

中国語専攻では、中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとりくみ、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とする学生を求めています。

外灘から望む浦東のビル群（上海）

中国語専攻ホームページ　http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/chinese/web/

あなたが大阪大学に入学してまず出会う中国語は、世界一の 13 億の人口、世界第 3 位の広さの国土、56 の民族、それに伴う数十の言語をもつ中国と、世界中に広がる華人社会の共通語である言語です。

1 年次では、「听」（きく）、「说」（はなす）、「读」（よむ）、「写」（かく）の各技能を総合的に学び、この言語の世界に、どっぷり浸かることになります。

2 年次以降は、みなさんの志向次第で、次に挙げるような、さまざまな「中国語」を学びつつ、中国のいろいろな側面に触れることができます。

まず、現代中国の言語・文学・歴史・政治・経済・社会などを学ぶ手段としての中国語。これを学ぶことで、前掲の学問分野に対する基礎的な知識が身につくとともに、あなたの中国語は、より幅広く、知的なものになるでしょう。

また、共通語とはかなり異なった方言である広東語は、あなたの中国語に対する知識を多角的なものにするための、また、独自の歴史・民俗・風土などを知るための、最良の足がかりとなってくれるでしょう。

あるいは、近代から遥か古代へと遡っていく、歴史的中国語もあります。これを通して、あなたの中国への視点は、時間的な奥行きをもつことでしょう。

3・4 年次では、ゼミに所属します。あなたが「どのゼミにしようか」と悩むとき、あなたは、きっと、それまで学んだ、さまざまな中国語が、ゼミでの多様な専門分野の学習に不可欠であったことを知り、今までのハードな勉強は、このためであったかと達成感を覚えてくれるものと、わたしたちは期待しています。

聖ソフィア教会（ハルビン）

学生の声　3年　岸田 紗耶

中国人の男性が結婚する時に必要なものは何だと思いますか？それは、家と車です。びっくりですよね。日本から近くて遠い国、それが中国です。中国語専攻に入ったら、中国語だけでなく、中華圏の文化・社会のプロフェッショナルにもなれます。中国大陸だけでなく、台湾や香港についてもきっと関心が向くでしょう。

1、2 年生では中国語を中心に勉強します。1 年生は毎週暗唱があって大変ですが、クラスの仲間と切磋琢磨し頑張りました。先生方の面倒見もよく、アットホームな雰囲気です。3、4 年生では、中国語に加えてそれぞれの興味を深めていきます。私は台湾と日本が歴史上深い関係にあったことを知ったり、中国映画の歴史について勉強したりしています。

中国語専攻の学生は、発音を始め皆レベルが高いです。どこまで伸びるかは自分次第です。頑張っている人は、留学に行く前でも流暢に話せます。勉強だけが大学生活ではありませんが、私は中国語学習を一つの趣味のように感じています。2 年生の時スピーチコンテストに参加して、他大学の中国語学習者に出会い、刺激をもらいました。他にもカラオケで中国語の歌を練習してみたり、YouTube を利用して中国語を学んだり、中国映画などのエンタメも楽しんでいます。一番楽しいのは、中国語劇団で学年を越えて中国語の劇を作り上げることです。みなさんに、ぜひ中国語専攻で趣味を一つ増やしてほしいなと思います。

留学体験記　4年　高田 茉優

私は約 1 年間、中国の北京大学に留学しました。留学先を北京大学に決めた理由は、優秀な学生が集まる歴史と権威ある大学での学習を通して自分の実力を試してみたいと考えたからです。また、以前旅行で訪れたことがあった北京という街を再訪したい、そこで生活を送ってみたいという思いもありました。

大学では、中国語だけでなく中国の文化や文学の授業も履修しました。授業外では、訛りが強くて聞き取れない中国語や、衛生面の未発達、何事もスマートフォンで済んでしまう生活上の利便性など、教室内では知ることのできない「中国」を数多く体験しました。

良い面も悪い面も全て含めて中国を大好きになることができた留学ですが、帰国から 1 年以上経った今、留学を振り返って思い出すのは全て「人」です。先生や友人はもちろん、会うたびに笑顔で挨拶をしてくれる寮の清掃員のおばさん、「いつものやつね」と言ってくれる食堂のおばさん―。そして中国人だけではなく、世界中からやってきた様々なバックグラウンドを持つ留学生の友人も多くできました。時には朝まで語り合い、困った時には助け合い、かけがえのない友情を築くことができました。

世界中に友人ができ、自分の知見や視野を広げられたことが、中国語を学習していて、また留学をして非常に良かったと感じる点です。中国語は、私と世界を繋げてくれる大切なツールです。

留学体験記　4年　長谷川 咲紀

私は 1 年ほど国立台湾大学へ留学しました。中国語専攻とは言っても留学先は中国以外にも台湾や香港、シンガポールなど幅広い選択肢があります。その中でも私は、親日国とよく聞き親近感はあるけれど詳しく知らなかった国、という理由で台湾を選びました。

留学中は中国語の授業以外に、台湾の歴史や文化について学ぶ授業などを履修しました。留学前にゼミで扱った原住民が取り上げられた時には、学んだことが活かされたと嬉しく思いました。さらに、台湾の友人とゼミで扱った内容について話すことでよりそのテーマに関心を持ちました。

また授業外では日本でも所属していた大学のビッグバンドサークルに参加しました。当初はなかなか部員と意思疎通ができず苦労しましたが、次第にバンドに溶け込んでいけた喜びや異なる国籍・文化背景を持つ部員と音楽を作り上げた時の不思議な感覚は忘れられません。

留学を通して、自分が学んだものがダイレクトに活かされること、活かすことで人間関係や視野が広がっていくことに一番面白さを感じました。そして興味・関心が広がり、現在は台湾ゼミで入学当初関心のあった分野とは全く異なる分野を学んでいます。幅広い選択肢のある中国語専攻に入り、留学することであなたの世界もより広がっていくと確信しています。

朝鮮語専攻

안녕하십니까？（アンニョンハシムニカ）

朝鮮語専攻では、朝鮮語の運用能力と、朝鮮・韓国の言語、文化、社会に関する専門的な知識を身につけ、日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になることを希望する学生を求めています。

民族の聖山　白頭山（ペクトゥサン）（標高2,750m）　山頂の天池（チョンジ）（最深部384m）

受験生のみなさんに、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路について、簡単ではありますが、案内いたします。

教育課程の基本的内容は、学年別にみると次のとおりです。

1年生と2年生は、朝鮮（南北朝鮮）の言語の習得が中心です。朝鮮語の音声組織、文法構造、語彙の習得が朝鮮語実習としておこなわれます。これとともに、朝鮮の言語文化と、近現代の歴史・社会のそれぞれについて、講義があります。3年生と4年生は、朝鮮語の語学力そのもののさらなる向上のために朝鮮語演習があります。これと同時に、朝鮮語を基底とした言語・文化・文学についての講義が進められます。3・4年生ではさらに言語・文化・文学の演習があります。これらの演習では、学生自身が言語・文化・文学の中からタイトルとテーマを設定し、学習、研究を進めます。4年生は、卒業するためには、卒業論文を作成しなければなりません。

朝鮮語専攻の学生は、以上のような教育課程を履修しながら、3、4年生になると海外留学する人が少なくありません。留学先はさまざまですが、大韓民国が中心です。留学先大学での修得単位が、本学での修得単位として認定されることが可能な場合があります。

学生の卒業後の進路は、朝鮮語専攻の前身である大阪外国語大学朝鮮語学科以来、多くの卒業生が商社、販売流通、金融、マスコミ、国際交流、公務員（一般、教職、外務など）その他各界で活躍しています。この就職先の傾向はここ数年も基本的に変わっていないようです。卒業生の中には、大学などで研究に携わっている人もいます。

以上が、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路の概略です。

受験生のみなさん、朝鮮語専攻に入学されることを期待しております。

学生の声　2年　藤原 聖佳

まず最初に私が韓国語に興味を持った理由は、母親が韓国語の勉強をしていた時に文法が同じだったり、発音の似ている単語があって、興味を持ったからです。高校3年生になり志望校について悩みましたが少しでも興味を持っていることについて学びたいと思い、朝鮮語専攻への受験を決めました。朝鮮語専攻では言語としての朝鮮語以外にも、朝鮮の歴史、ゲーム、民謡など様々なことについて学べます。つまり、単に言語を学ぶだけでは趣味で韓国語教室に通ったり、独学で学んだりしている人たちと同じことになってしまいますが、大阪大学の朝鮮語専攻の授業では朝鮮の歴史、政治、文化、宗教や国民性などについての知識を身につけられるだけではなく、日本と比較しながら自分の考えを育てることができます。一生懸命勉強すれば留学した時に、現地の人たちと世界情勢やその時アジアで起こっている社会運動について議論したり、日本の文化や流行について韓国と比較しながら説明できるようになると思います。そのくらい朝鮮語の授業は充実しているし、厳しい受験を乗り越えて来た仲間たちとの高め合いは素晴らしいものです。どの外国語を専攻しても一貫して言えることは、その言語を喋れる能力よりも、自分の考えをその言語で説明し、議論できる能力だ、と私は思います。そのために、言語を勉強するだけではなく人間性も伸ばすことが重要だということを自分も忘れないように日々精進しています。

留学体験記　4年　西垂水 慈愛

私は、3年生の9月から12月に韓国の中央大学に交換留学をしました。留学の主な目的は、語学力を向上させることと、以前より深い関心を持っていた韓国について理解を深めることでした。

留学先では、大学内の学生寮で生活をし、月曜から金曜まで毎日語学堂に通っていました。語学堂とは、外国人が韓国語を学ぶ施設で、中国やベトナム、日本などの学生たちが、それぞれのレベルに合わせたクラスで授業を受けます。語学堂では、授業を通じ、韓国語や韓国の文化について学ぶことは勿論、ともに授業を受けるクラスメイトたちの国の言葉や文化について学ぶこともできました。

放課後や週末は、様々な場所に足を運び、貴重な経験を積むことができました。時には予期せぬトラブルに見舞われることもありましたが、現地の方に力を貸して頂き、優しさに触れることができました。

実際に現地で生活をしてみると、自分が抱いていた韓国に対するイメージと実際の韓国の姿とには、多くの相違点がありました。また、韓国という外国で生活することで、日本を客観視することができ、日本に対する理解も深めることができました。

4か月という短い期間の留学ではありましたが、毎日新しい発見があり、私にとっては、自分自身の価値観までもが変化するような経験でした。皆さんも、留学を通じ、様々なことを得られるはずです。ぜひ挑戦してみてください。

モンゴル語専攻

Сайн байна уу? (サィン バィノー)

モンゴル語専攻では、モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得して、異文化としてのモンゴルの多様性を積極的に学びたいと希望する明確な目的をもった情熱ある学生を求めています。

さあ、走り出そう！

私たちの暮らす東アジアの北に位置するモンゴル国は、1990年代初頭の民主化以降、日本人にとって非常に身近なアジアの一国となりました。それまでの社会主義であった時代には考えられないほど、双方の人々の往来は自由で活発なものとなっています。毎年日本からは、多くの観光客やメディア関係者らがモンゴルを訪れ、報道や特集も日常的になっています。また、日本では国技とされる相撲界でのモンゴル人力士の活躍も目覚ましく、連日メディアを賑わせていますが、モンゴル語は、このような私たちにとって身近なアジアの隣人であるモンゴル国の公用語です。

本学モンゴル語専攻では、そのようなモンゴルについて、その言葉の学習を通じて、文化や歴史、自然、民俗、宗教、思想、社会、方言など、関連する様々な方面への理解を深めます。モンゴル語の語順は、日本語と同じくいわゆるSOV型です。名詞類は日本語の「てにをは」に当たる格変化を持ち、動詞の活用も基本的に規則変化します。英語などと違い、日本語の語順で考え話すことができる、非常に学びやすい言語の一つです。文字は2種類使われています。1つは13世紀にチンギス・ハーンが建てたモンゴル帝国以来800年あまりに渡って使われてきた縦書きのモンゴル文字と、1940年代に新たに導入されたロシア文字基盤のアルファベットですが、その両方を学びます。日本人スタッフとネイティブによる授業で、1-2年次には、生きたモンゴル語を基礎からしっかり身につけます。3-4年次には、学んだそのモンゴル語を生かして、卒業論文の作成等を目指し、各人の興味ある分野をより突き詰めて研究できるようなカリキュラムになっています。

本学での学生生活は、1年次には豊中キャンパスで、2年次以降は箕面キャンパスで勉強します。大学内では、各種クラブ活動やサークルに参加したり、在学中に休学して、モンゴルや中国、英語圏などへ留学し、語学力等の向上を目指す意欲的な学生もいます。

本学モンゴル語専攻は、旧大阪外国語大学モンゴル語科を引き継ぎ、大阪外国語学校以来九十余年の長きにわたる歴史を持っています。特に作家、故司馬遼太郎氏の出身としても知られてきましたが、卒業後の進路に関しては、そういった文筆活動のみならず、大学でのキャリアを生かし、外務省をはじめJICAや、新聞社などの海外特派員、企業の駐在員といった、国際舞台に活動の場を見出した人も多くいます。また、教育者となって全国各地で教鞭をとったり、進学して研究者になったりと様々ですが、就職状況も例年概して良好です。

皆さん、一緒にモンゴル語を学びましょう。

学生の声　3年　村岡 郁弥

受験生の皆さん、こんにちは！

大阪大学外国語学部モンゴル語専攻について紹介します。

1.モンゴル語専攻の概要

縦書きの「モンゴル文字」と横書きの「キリル文字」の2種類を扱います。1～2年生で基礎能力を養い、3～4年生で応用事項を学習します。モンゴルに関する知識がない状態でも、先生方が丁寧にご教授くださるので、全く問題ありません。20人程度の少人数クラスだからこそ、先生方の熱意や学生への愛情は、どの学部にも劣らず感じられます。他の大学では決して味わうことの出来ない貴重な経験ができ、非常に価値のある4年間になると思います。

2.専攻語や学部の域に囚われない学び

外国語学部では、専攻語を中心に4年間しっかり鍛え上げられます。しかし、それだけではなく、他の言語の授業も履修することが出来ます。それに加えて、他学部の講義を受講することもでき、非常に幅広い学習をすることが出来ます。このように、外国語学部は多くの受験生が持つイメージよりも、かなり自由な環境で学ぶことが出来る学部であると言えます。

3.最後に

モンゴルには「思って行けば実現する。ゆっくり行けば到着する。」という諺があります。「目標を持ち続ければ、何事も必ず成し遂げることができる」という意味です。受験生の皆さんは、将来に対して多くの不安を抱えていると思いますが、どんな状況でも常に自分の理想を見失わず、目標を達成できるよう日々の学習に取り組んで下さい。

留学体験記　4年　春田 勇輝

いま、このページを見ているあなたは“モンゴル”について、何を思い浮かべるでしょうか。大草原に広い空、遊牧民や大相撲力士、はたまたチンギスハーンなどのイメージが強いでしょう。私も入学前はこのようなイメージしか持ちあわせていませんでした。ただ、かつて様々な民族が駆け巡り、世界史の舞台となったモンゴルの文化や歴史、言語とはどんなものなのだろうか。世界史の授業中に感じた、このようなふとした興味でモンゴル語専攻に入学し、モンゴル国立大学へ一年間交換留学する機会にも恵まれました。

留学中には大学で授業を受けるだけでなく、様々な人々と交流しました。モンゴル人はもちろんのこと、モンゴルに関心をもつ世界各国の留学生からも大きな刺激を受けました。彼らと共に生活し、勉学に励み、モンゴルの満天の星の下で語り合った日々は何事にも代えがたい思い出です。

ともすれば、モンゴル語は“マイナー言語”で片付けられるかもしれませんが、モンゴル語を母語とし生活する人々はこの世界に確実に存在するのです。きっかけは何でもよいと思います。「草原を駆け巡りたい」、「羊肉をたらふく食べたい」…等々、些細な興味を大切にしてください。

モンゴル語でなくとも、この学部案内に載っている25言語の紹介を見ていて、少しでも面白そうだなと思ったなら、その気持ちを忘れないでください。外国語学部のプログラムは必ずその知的好奇心を満たしてくれるでしょう。

インドネシア語専攻

Selamat siang （スラマット シアン）

インドネシア語専攻では、多彩な数百の民族から構成される東南アジア最大の国家であり、日本とも深い関係を持つインドネシアについて、インドネシア語の習得を基盤としながら、言語・文化・社会・宗教・歴史などの様々な面から積極的に学び、理解を深め、その成果を生かして、社会に貢献していきたいと希望する学生を求めています。

アチェの中央モスク

インドネシアは約2億5千万人（世界第4位）の人口をもつ、東南アジアの群島国家です。1945年に独立を宣言しました。

インドネシア語は、マレー語を母体として独自の発展をとげた、インドネシアの国語です。ローマ字で表記され、文法も難しくないため、今では全国に普及しています。一方、インドネシアには数百の地方語があり、日常生活においてはインドネシア語と共にそれぞれの地方語が使われています。

広大な国土と多様な民族集団をもつインドネシアに関して、私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

歴史をひもとけば、ヒンドゥー・イスラム諸王朝の時代、オランダ植民地時代、日本占領時代、そして独立後の激動の歴史が私たちを惹きつけます。1998 年の民主化を経て、インドネシアは新しい時代を迎えています。

各地に目を向ければ、多様な文化と社会があります。スマトラ島には母系制で知られるミナンカバウ人、カリマンタン島には「森の民」といわれるダヤク人、スラウェシ島にはかつて海洋王国を築いたマカッサル人、ニューギニア島にはパプアの人びとがいます。また、ジャワ、バリをはじめ、各地の絢爛たる芸術・文学は多くの人々を魅了し続けています。さらに、現代の芸術、文学、ポピュラー・カルチャーは同時代を写す鏡として興味深いものです。

今日、インドネシア社会は、グローバリゼーションの波の中で、変化をとげつつあります。経済が急速に発展する一方で広まった格差の是正、開発と環境のバランス、多宗教・多民族共存などが課題としてあります。

何を学ぶにせよ、インドネシア語は基礎となります。しっかりと言葉を学び、本当のインドネシアに触れる旅に出かけましょう。広く、大きく、多様なインドネシアは、私たちに多くの生きる手がかりを与えてくれるでしょう。

首都ジャカルタ

バリの儀礼

学生の声　3年　永島 朱華

Selamat siang！こんにちは！私たちインドネシア語専攻3年生は日本語専攻1名を含め、男子4人女子9人、計13人で毎日楽しく勉強しています。外国語学部のなかでも一番人数が少ないインドネシア語専攻ですが、仲の良さは阪大で1番です！また、インドネシア語専攻は、学年を超えた繋がりもとても強く、先輩後輩と一緒に参加できるイベントごともたくさんあります。インドネシア留学生たちとの交流も活発で、学期に一度は交流会や料理会を開いています！インドネシア料理を振舞ってもらったり、逆に私たちが日本料理を振舞ったりと、とても楽しいですよ。

インドネシア語専攻では、先生方が1年生の頃から卒論を見据えた指導をしてくださいます。文法や読み書きの授業はもちろん、インドネシア語の論文を読んだり、インドネシア語でプレゼンをする授業などもあります。2年生になると、より卒論を見据えた授業が始まります。自分で研究したいテーマを決め、論文を探し、実際に読んでその内容を発表する授業もあります。また、講読の授業などもより高度な内容になってきます。3年生では、いよいよ4年生に向けて卒論の研究が始まり、ゼミ分けがされます。自分の興味のあるテーマを設定し、研究の発表を行います。ゼミのほかには、卒論を書く上で自分が必要だと思った授業を取っています。4年生は卒業に向けて卒論を頑張るのみ！です！

一緒に楽しく勉強しましょう～！Terima Kasih！

留学体験記　4年　古谷 幸之輔

赤道にかかるエメラルドの首飾り。このように表現されるおよそ17,000の島々を抱える世界最大の島嶼国家インドネシアには、言語や文化、宗教を異にする多様な人々が住んでいます。このうち、私はアンボン島という首都ジャカルタから約2,500㎞離れた小さな島の大学に留学しました。大航海時代には香料を求めてヨーロッパ人たちがこぞって目指した地ですが、現在ではアンボン島の属するマルク州は経済水準も高くなく、インドネシアにおいてその存在感は大きくありません。

留学中に私は外国を理解するうえで、「一部を知って全部を知った気になってはいけない」ということを意識させられるようになりました。アンボンの人々は、メラネシア系に近い容貌をもち、その過半がキリスト教を信仰しているなどの点で、インドネシアで多数を占めるジャワ人やスンダ人たちとは異なっています。アンボンの人々に固有の思考様式に基づく人々の日々の振る舞いや、土着の信仰が反映された特別な日の儀礼ー特に印象的だったのは、隣の島の漁村で見た「サシ」とよばれる禁漁を解禁する際の儀礼ーなどに教室の内外で接するうちに、私がそれまでにすでに旅したジャワやスマトラでの経験から抱いてきた「インドネシア」像は、知ったかぶりの虚像だったのではないかとも感じられました。留学を通じてインドネシア語能力を向上できたことはいうまでもないですが、多様な社会への向き合い方を学ぶことができたように思います。

フィリピン語専攻

Kumain ka na ba? （もう食べましたか）（クマイン カ ナ バ）

フィリピン語専攻では、フィリピンの人・ことば・文化に関する研究テーマを多様な学問的視点から考え、それを自らのことばで表現し、私たちが暮らす市民社会に向けて積極的に発信したいと思っている人、さらに、研究テーマを深めたり、社会に貢献したりするために、フィリピン語の言語能力を高める努力を惜しまない学生を求めています。

オフィス街の聖母マリア像

フィリピン・マニラ首都圏のオフィス街の一角にある大きな教会と巨大な聖母マリア像。300 年ものスペイン支配、その後数十年アメリカの統治により、欧米のキリスト教と自由主義を支えにした、グローバルな性格の強いフィリピンのシンボル、なのでしょうか。だからいま年率 5 %を超える順調な経済成長を持続させ、世界中に優秀な労働力を送り出し、また新たな英語留学先として人気を集めている?

フィリピンの歴史経験はもっと複雑です。多文化の社会なのに、外国の支配によって外来語である英語で無理にひとつにされ、一握りのエリート層が特権を握る社会とされ、様々の社会対立を経験してきました。欧米文化へのなじみはグローバル化の進む中で有利ではあり、特に多くの人々が海外に出稼ぎに行きましたが、結局海外で頼りになるのは同国人であり、そこで心を通い合わせられる言葉は、英語よりも、タガログ語を元に国語として教えられるようになったフィリピン語でした。グローバル化の中でフィリピンは苦しみ、その中で英語に熟達すると共に、自分たちの言葉であるフィリピン語を熟成普及させていったのです。

30 年ほど前、この教会が現在立っている地域に多くの人々が集い、非暴力による独裁政権の交代を求めました。教会の呼びかけとビジネス界の後援もありましたが、政権に立ち向かう勇気を奮った普通の人たちが、フィリピン語で励まし合って祖国の変革のために立ち上がったのが、この教会とアジア人の風貌を持った聖母像が記念しているこの場所です。

グローバル化の中でこそ、自分たちの言葉を確立しつつあるフィリピン。その国語の魅力をぜひ一緒に学んでみませんか。

学生の声　3年　佐藤 南海

「なんでフィリピン語専攻を選んだの？」

これは、私の自己紹介を聞いて必ずといっていいほど聞かれる質問です。わたしは幼いころから外国に興味があり、大学では、英語もそれ以外の言語も学びたいと思っていました。そこで、英語も公用語の一つであるフィリピン語専攻への受験を決めました。今回は私たちが所属しているフィリピン語専攻について紹介していきたいと思います。

フィリピン語はアルファベットを使って表し、発音もアルファベット表記のままであることが多く、比較的取り組みやすい言語です。授業のなかでは文法だけでなく、フィリピンの歴史・文化・社会背景も学びます。

また、一クラス 10 人ほどの少人数のクラスで、クラスメイト同士の仲がよいことも特徴です。2 年生の夏では、クラスメイトとフィリピン・セブ島へ旅行に行きました。また先輩方ともつながりが強く、勉強から留学までサポートしてくださる先輩が多いです。もちろん先生方も熱心な方が多く、楽しくて面白い授業をしてくださいます。そんなフィリピン語専攻で過ごす毎日は、とても楽しく充実しています。あなたも一緒にフィリピン語専攻で学んでみませんか？皆さんと会えるのを楽しみにまっています！

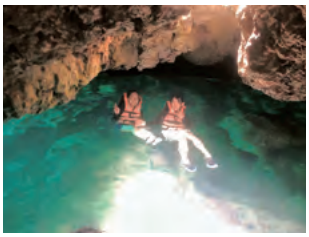
フィリピン語専攻のみんなとのフィリピン旅行にて

留学体験記　4年　西尾 絵里

私は約 7 カ月間、フィリピンに留学しました。高校生の頃からフィリピンの貧困について興味があったため、大学では開発学を専攻し、また、NGO 団体でのインターンも行いました。大学での授業で一番印象に残ったのは、ある村を訪問したフィールドワークです。舗装されていない道路を車で 1 時間ほど走り、小さなボートに乗ってダムを渡り、森の中を進み、さらに橋のかかっていない川を太ももくらいまで浸かりながら進んだ先にある小さな村。病院などの設備がなく、インターネットもない、日本に住む私たちとは全く違う環境で暮らす人々たちとの交流は、日本では体験出来ないことで、とても貴重な体験になりました。また、NGO 団体でのインターンでは、実際に貧困地域に出向き、そこで暮らす人たちと直接会って実状を聞くことができ、さらに貧困問題への興味が増しました。

と、ここまでは真面目な話をしましたが、留学中は勉強だけでなく、遊びにも沢山出かけました。綺麗なビーチや遊園地へ遊びに出かけたり、友達とパーティーをしたり、とても楽しく優雅に過ごすことができました！

“フィリピン＝治安が悪い・怖い”と思っている方も多いと思いますが、実際はフィリピンの方はフレンドリーで親切で、とても住みやすい国です。日本から近く、人々も優しく、物価も安いフィリピンは、一歩踏み出すには最適な国だと思います！



タイ語専攻

สวัสดี（サワッディー）

タイ語専攻では、タイ語による実践的コミュニケーションの能力を養い、かつそれを基礎にタイの社会的文化的ダイナミズムに対する深い洞察力を身につけたいと考える学生を求めています。

タイといえば稲作・象・ムエタイ・仏教寺院というイメージを持つ人が多いと思いますが、現在のタイ国は、農林漁業就労者の人口が全就労人口の50％を割り、工業化とサービス産業を中心とした経済成長を遂げている「中進国」です。このようなタイの経済発展・工業化にもっとも深く関わっている国の一つが日本です。たとえば、タイの自動車産業は東南アジアの中心的役割を担っていますが、日本の大手自動車・自動車部品メーカーがそれを支えています。

タイは、豊かな自然環境、開放的で自由な雰囲気、安定した社会体制、物価の安さなど、外国人にとっても大変居心地の良い国であり、タイを訪れる日本人観光客は年間150万人以上、長期滞在をする日本人の数は7万2千人（2017年の在留邦人数）にのぼり、短期滞在ビザで滞在する人を含めると、10万人ちかくの日本人がタイで生活しています。また、訪日タイ人観光客数が近年急増しており、2019年には130万人を超えるタイ人が日本を訪れました。日本国内には留学生を含むタイ人長期滞在者がおよそ5万人います。このように、日本とタイは経済的な面に加え、人的交流の上でも大変密接な関係を築いています。

70年以上の歴史を持つタイ語専攻の卒業生は様々な分野で活躍していますが、特に、日タイ間の架け橋として活躍する人材が輩出しています。タイ国内で活躍している卒業生も多く、バンコクの同窓会の活動は非常に活発です。

タイ語専攻では、タイ語の運用能力を養いながら、タイについての総合的な知識を学ぶためのカリキュラムを組んでいます。1・2年次にタイ語の基礎を学び、その上で3・4年次にはタイの言語、社会・文化、政治・経済、文学、歴史について専門的に学べるようになっています。

また、交換留学の協定を結んでいる大学が多いので、3・4年次にタイの大学に留学する学生も多数います。外国語学部をはじめ、大阪大学に留学しているタイ人留学生との交流も盛んで、授業だけではなく、キャンパスライフの中でタイの人と接する機会が多いのも特徴です。

学生の声　3年　邱 珮淇

私は台湾からの留学生です。日本語を本格的に学び始めたのは高校生になってからでしたが、父の仕事の関係で幼い頃から日本語に触れる機会があり、日本に対して特別な気持ちを抱き続けてきました。また、私が高校生の頃、父がよくタイに出張することがあり、それがきっかけでタイの文化や料理にも魅了されました。そこで、自分にとって親しみのある日本で、魅力的なタイ語を勉強しようと決意し、特別入試を通して大阪大学のタイ語専攻に入りました。

入学前は、日本語日本文化教育センターで半年間勉強しました。そこで出会ったタイ語専攻の先輩方やタイから来られた留学生のみなさんはとにかく優しくて、温かくて、色々とお世話になり、沢山助けてもらいました。そのため、早くタイ語を学びたい！と思う気持ちが日々深まっていきました。半年後、タイ語専攻に入り、先生から一人一人の特徴や雰囲気などによってタイ語の「チューレン（あだ名）」をつけられ、入学してすぐにタイの文化を感じ取ることができてとても印象的でした。また、一年生の夏に行うタイ研修もとても濃い思い出になりました。実際にタイを訪れて現地の雰囲気を感じ、滞在先の大学生と交流するなど、様々な体験ができました。タイは私が想像していた以上に微笑みにあふれた国だと実感することができて、タイをさらに好きになりました。そのほかにも、専攻をあげて取り組むイベントも多く、語劇や伝統舞踊など枚挙に暇がありません。

タイは魅力にあふれ、学びがいのある国です。タイ語専攻に入学して本当に良かったなと思います。

留学体験記　4年　清水 貴理子

私は3年生の7月から9か月間、タイのナコンパトム県にあるシラパコーン大学に留学していました。この一年を振り返ると、素敵な出会いに恵まれた留学だったと思います。

留学当初はコミュニケーションがうまく取れず、授業へ行っても分からないことだらけで、一人で過ごすことも多々ありました。しかし、タイ人はとても友達思いな人が多く、授業では隣に座って解説してくれたり、発表の準備をする時も何度も集まって手伝ってくれたりしたおかげで、次第に積極的に授業に参加出来るようになりました。また、タイに行ってしばらくした頃に体調を崩して入院したことがあったのですが、友人らが毎日病室に絶え間なくお見舞いに来てくれて、寂しさを感じる暇さえないほどでした。彼らの存在がなくては、これほど充実した学校生活は送れなかったと思います。

大学内だけでなく、放課後にカフェでピアノを弾いたことがきっかけで、タイの音楽プロデューサーと知り合ったり、子供たちに日本語を教える機会を得たりと、世代を超えた交流もありました。言語は国内でも学べますが、タイに行ったおかげで今までになかった出会いや発見があり、そこで得られた幅広い交友関係は私にとって何にも代えがたい財産です。タイ語専攻で良かった、そして留学に行って良かったと心から思える一年でした。

ベトナム語専攻

Xin chào các bạn! （シーン チャーウ カーック バーン）

ベトナム語専攻では、ベトナムに強い関心を持ち、ベトナムの言語と文化の学習に意欲的な人、そして、学んだことを活かして、国際的な仕事に就きたいと希望する学生を求めています。

ベトナム社会主義共和国は東南アジア大陸部の中で9460万人という多数の人口を誇り、急速な経済成長を遂げる文字通り「元気」な国の代表です。そして我がベトナム語専攻は、大阪外国語大学時代の古き良き伝統を維持しつつ、新しい時代に向かって進化を遂げ続ける、本国に負けない「元気」な専攻の一つです。

古き良き伝統とは、まず「大家族ベトナム　Dai gia dinh Viet Nam」を正に体現する専攻内の結束の強さです。これはベトナム戦争を勝ち抜いたベトナム民族の結束とその力強さを誰もが学ぼうとする気持ちの現れともとれます。ベトナム人留学生と日本人学生とが肩を寄せ合って一緒に勉学する姿もベトナム語専攻の特徴の一つです。初級・中級を終えた3・4年生の授業では、ベトナム人と日本人が一緒に参加する授業がいくつかあります。そこでは、互いにベトナム語で議論する光景がしばしば見られます。日本にいながら常にベトナムを感じつつ、ベトナムの良さを学ぼうとする学生で溢れています。また、ベトナムの誇る「孝客 hieu khach」（客をもてなす）文化もちゃんとここにはあります。分け隔てなく客人をもてなす上級生達が、皆さん新入生を心から手厚く歓迎してくれることでしょう。

ところで、ベトナムと日本の関係は意外と古く「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌でお馴染みの阿倍仲麻呂の時代にさかのぼります。中国で科挙の試験に合格し官僚となった仲麻呂は、当時安南都護府と呼ばれた地に趣きます。そこは取りも直さず今のベトナムの首都ハノイの辺りだと言われています。今のベトナムに目を向けても、箸や爪楊枝を使い、米を主食とする食文化、かつては漢字を使った歴史、誰もが認める「勤勉さ」に加えて、日本語の敬語にも通ずる相手を気遣う言葉使い、昔どこかで見かけた様な田園風景など、我々日本人が自分のルーツを探ろうとする時、一度はそこに立ち止まりたくなることばかりです。「水を飲んで源を思うUong nuoc nho nguon.」日本人として知るべきことの多くを教えてくれる大切な国です。

「家に入っては俗に随え Nhap gia tuy tuc」ベトナムに興味のある人はもちろん、選択に迷っている諸君も、まずはここに身を置いて、その空気を思う存分吸ってみて下さい。必ずや有意義な学生生活が待っていることを約束します。

最後に言い忘れましたが、ベトナム語専攻では女性陣の声が大きく逞しいことも彼国と同じです。「一に奥さん、二に神さん Nhat vo, Nhi troi」男性諸君、負けずに頑張ってください。

学生の声　3年　宮内 眞菜

皆さんこんにちは。皆さんは、ベトナムについてどのようなイメージを持っていますか？経済的に注目されていたり、ベトナム料理が好きだったり、ベトナム語を専攻語として選ぶ理由はたくさんあると思います。今回は、ベトナム語専攻の魅力を２つ紹介します。

１つ目は、行事が多くとても充実している点です。ベトナム語専攻では、ベトナム料理の試食会や、夏祭り、語劇など、年間を通じてとてもたくさんの行事を行っています。その中でも、私が最も印象に残っているベトナム研修について紹介します。例年、1年生は夏休みに３週間ベトナムに行き、現地の大学に通いベトナム語を勉強します。たった４ヶ月しかベトナム語を勉強していなかったためはじめは不安でしたが、ネイティブの方にベトナム語が通じた時は、言語を学ぶことの楽しさを感じることができました。また、現地で生活することでベトナムの文化を肌で感じることができ、とても濃い３週間を過ごすことができたと思います。

２つ目は、留学に行く人が多いという点です。外国語を勉強する上で、留学に行きたいと考えている人は多いと思います。留学に行く機会に恵まれ、多くの人が留学を通して貴重な経験をしているというのもベトナム語専攻の魅力の一つだと思います。

最後に、ベトナム語はとても面白い言語です。どんな理由でベトナム語専攻を選択しても、絶対に後悔しないと思います。皆さんも、ベトナム語を勉強してみませんか？

留学体験記　4年　此木 梨紗・浜崎 紗英

Xin chào các bạn!! 皆さんこんにちは！

皆さんはベトナムという国にどんなイメージを持っていますか？最近では料理やかわいい雑貨が有名で女子旅で人気になっていますよね！

私たちは３年生の半年間、世界遺産・ハロン湾近郊のハロン大学に、交換留学第一期生として留学しました。「君たちの半年間の学びや行いが、次の後輩たちの土台になる。」という教授からの一言にやりがいを感じ飛びたちました。留学当初は、日本人の受け入れが初めてということもあり、ハロン大学の先生方や他の留学生と共に一から手探りで進めていく状況で、想像していた何倍も大変でした。しかし、熱心に指導してくださる先生方や親切なベトナム人の方々のおかげで語学力は格段に上達しました。

平日は空気がきれいで自然豊かなハロン大学で、勉強をしたり他の留学生と文化交流をし、休日は長距離バスを使ってハノイや他の都市に繰り出して過ごしました。ボランティアやインターンにも挑戦することができ、とても充実した留学生活を送ることができました。ベトナムの面白さや現地の人々の温かさは、実際留学しないと絶対に経験できないものでした。

今後、皆さんが私たちに続くハロン大学への留学生として、新たなことに挑戦してくださることを期待しています！

ベトナム語専攻には、親身に寄り添ってくださる先生方や、優しく頼もしい先輩がたくさんいます。皆さんもぜひベトナム語専攻で、充実した楽しい学生生活を送りましょう！

ビルマ語専攻

ထမင်းစားပြီးပြီလား။ （食事をすませましたか）
（タミン サー ピービーラー）

ビルマ語専攻では、ビルマ語の習得を基本にミャンマーの言語や文化、歴史、社会などの探究をとおして、他者を深く理解し共に生きていく意志を育みたいと希望する学生を求めています。

あるお寺の境内で出会った子どもたち（モン州モーラミャイン市、2003年2月）

「おもしろい文字ですね」
「目の検査のようですね」

検眼表の円い図形や知恵の環を思い起こさせるユーモラスなビルマ文字で書かれたビルマ語は、ミャンマー連邦（1989年対外的な英語呼称BurmaをMyanmarに変更）の公用語であり、5,141万（2014年）国民の共通語（母語人口はその4分の3強）です。

ビルマ語の最古の文献は通称ミャゼディ碑文（1112年）で、四面体の石柱にバガン朝のチャンシッター王の遺徳を讃えた顕彰碑がモン語・パーリ語・ピュー語・ビルマ語の4つの言語で刻されています。今では死語となったピュー語が含まれていることから、この碑文は「ビルマのロゼッタ石」と呼ばれたことがあります。

ビルマ語の話し手の社会は、インド文明とシナ文明の影響を受けた点で、また、稲作文化を基調とする点で、東南アジアのほかの地域との共通性をもっています。宗教的には、南伝上座部仏教を信仰する人たちの社会と、社会規範や価値観を共有しています。さらには、少数民族との接触による文化の相互作用も、東南アジア大陸部に共通にみられる現象です。こういった関心は、遠く北方の雲南・貴州の地の人々の文化にも私たちをいざな誘（いざな）ってくれるでしょう。

ビルマ語を専攻言語として選ぶ人たちは、当然のことながら、まず、ビルマ語の運用能力を身につけることが求められます。そして、その背後にある基層文化を言語・文化・社会の各面にわたって、総合的に学ぶことになります。また、関連する言語として、チベット語のほか、カレン語など少数民族の言語も学ぶことができます。

（注:「ビルマ」という地名は、幕末の地理書で、箕作省吾（みつくりしょうご）の『坤輿図識（こんよずしき）』（1845年）にみえる「毘爾満」を嚆矢とするようである。一平田由美氏の教示による）

ミャゼディ碑文（バガン博物館蔵のA碑文）

学生の声　3年　松橋沙貴子

視力検査のランドルト環にも似たビルマ文字は、初めて見た時にどこまで1文字なのか分からず、とても不思議で魅力的でした。私の大学生活は、文字に対する興味から始まりましたが、ビルマ語もミャンマーもとても興味深く大好きなものになりました。その最初のきっかけともいえる短期語学研修についてご紹介します。

ビルマ語専攻では、2年生以上を対象として1ヶ月のミャンマー語学研修プログラムに参加できます。留学先のヤンゴン大学は、国内随一の学力を誇るミャンマー最古の国立大学です。語学の授業はもちろん、伝統楽器を演奏する授業や先生方と一緒に料理を作る授業など様々なものがあり、とても充実したものでした。週末にはエクスカーションとして遠くの歴史的な街に訪れ、その町の歴史や文化を教えてもらいました。1年前には全く知らなかったビルマ語を使って1ヶ月過ごすことは、自分の成長を実感し、現地の雰囲気を知ることができる非常に良い機会です。本やお話でしか知らなかった文化や慣習が目の前で繰り広げられる瞬間の連続で、勉強してきたビルマ語が現地ではこのようにミャンマーの歴史と共にあり、人々の生活の媒介となっていることに感動しました。

言語を通して文化を知り、文化を知ることで言語の理解を深める、その繰り返しによって言語世界全体を知ることができるのは外国語学部ならではの魅力だと思います。

留学体験記　4年　水川 千代

ミンガラーバー！私は1年半ミャンマーに滞在し、3か月日系企業インターン、10カ月ミャンマー語留学、6カ月ミャンマー人向け日本語学習ページの立ち上げと運営をしていました。日々目まぐるしく変化する環境と、ミャンマー人は勿論のこと、世界各国から集まる意欲的な人々との出会いは刺激の連続でした。

私が留学していたヤンゴン外国語大学では、年齢も出身国もバラバラの学生が一緒に授業を受けます。また、語学の授業のみならず、消防ホースが出動する本気の「水かけ祭り」や汗だくで挑む「餅つき大会」などミャンマーの伝統的な行事も体感できるので、楽しい留学生活を送りました。

そして、語学留学前後のインターンでは、ミャンマー人スタッフさんたちと議論を重ねてプロジェクトを進めていました。異なるバックグラウンドを持つミャンマーの人々と、同じ目標に向かってアイディアを形にしていくのは、時に難しくも、やりがいを感じていました。

穏やかでありながら、意思の強さや誇りも兼ね備えているミャンマーの人々。一見シャイでも、実はおしゃべりと冗談が大好きなミャンマーの人々。お節介なほど世話好きで、困っている人がいたらすぐに助ける、思いやりに溢れたミャンマーの人々。そんな様々な素敵な面を持つミャンマーの人々に囲まれながら、急成長を遂げている刺激的な環境に身を置くのはとっても楽しいですよ！皆さんをお待ちしています♪

誕生日に日本語クラスの生徒さんがお祝いしてくれた時の写真です。
ミャンマーでは誕生日の人が皆にケーキをふるまいます。

ヒンディー語専攻

नमस्कार （ナマスカール）

ヒンディー語専攻では、ヒンディー語習得への強い意欲を持ち、ヒンディー語を通じてヒンディー語圏の言語、文学、文化、社会、歴史などを深く研究したいと希望する学生を求めています。

インドのアーグラー市にあるタージ・マハル

インドの人口はついに12億人を突破し、2045年には中国を抜いて世界一になると言われています。これほどのすごいエネルギーをもったこの国について皆さんはどれだけのことを知っているでしょうか。仏陀、ガンディー、カースト制度、ヨーガ、カレー、貧困、核保有国というイメージが定着しているのではないでしょうか。それらは、もちろん一面の事実ですが、現実のインドは、立派に民主主義が働いており、めざましい高度成長を遂げつつあり、とくにIT産業の発展はめざましいものがあります。アジアの市場を見るとき、「中国の次はインドだ」といわれるのも無理はありません。伝統的にインドと日本は、仏教という精神文化を通じて交流がありましたが、これからは文化・社会・政治・経済のあらゆる分野での交流が重要となるでしょう。

私達ヒンディー語専攻では、トータルなインド文化理解の前提として、もっとも重要な公用語であるヒンディー語の習得を非常に重視しています。最初の1年間は、徹底的に語学の訓練にあてられます。これを武器として、他大学には真似のできないインド研究を目指しているのです。ヒンディー語をマスターすれば、インドの知識の無尽の宝庫が諸君の前に開かれます。ヒンディー語は語順も日本語とよく似ており、文法も簡単で整然としています。発音は少し難しいものもありますが、一語一語はっきり発音してくれるので非常に聞き取りやすい言葉です。世界で一番多く映画が制作されるのはインドで、その中でもヒンディー語映画は人気があり、世界中に輸出されています。日本でも近頃、インド映画を見る機会が増えてきました。字幕なしでこの言葉が理解できればどんなに楽しいことでしょう。皆さんの憧れるカッコいいスターに会ってヒンディー語で話すというチャンスに恵まれるかもしれません。

厳しい授業でもヒンディー語学習の楽しさは十分満喫してもらえると信じています。優秀な諸君、好奇心旺盛な諸君、ヒンディー語専攻に来たれ!

インドの20ルピー紙幣の裏上と左下の文字がヒンディー語。
右下が英語。左のボックス内にその他の15の言語で20ルピーと書かれている。

学生の声　3年　小田 珠維

言語と文化は密接に関係しており、決して切り離しては考えられない存在です。言語を学ぶには文化を知る必要があり、文化を学ぶには言語の知識が必要です。ヒンディー語専攻に入り勉学を続けていることで、自然とインドという国そのものに強く魅了されました。インドの社会、人々、宗教など多くの点で日本と異なる部分があります。ピエロのように荷物を運ぶ屋台の青年、道路で鳴り響くクラクション、毎日が祭りのように騒がしい寺院など、時には日本人である私の常識が覆されることが当たり前であるインドを知ると、自分にとって新しい世界が切り開かれていくようでワクワクします。日本ではあまり馴染みのないヒンディー語ですが、実は日本語と関係する単語があったり、インド由来の神様が日本にも存在していたりと、共通点を見つけていくのも楽しいです。実際にインドへ行った際には、現地の人々の活力とエネルギーに圧倒されました。一見すると、雑多で混沌としたイメージのインドかもしれませんが、私は寛容さと勢いに溢れていると思います。ヒンディー語専攻の学生になってから数回インドを訪れていますが、毎回エネルギーをもらっているように感じます。旅行冊子を見ているだけではわからないインドを、ヒンディー語を学ぶことで深く理解し楽しめることが、この専攻の最大の魅力だと思います。きっと今まで学んだことのない新しい発見がたくさんあり、好奇心に駆り立てられるはずです。是非皆さんも、日本とは異色の文化を持つインドに魅了されてみてください。

留学体験記　4年　渋谷 遥

नमस्कार！私は子どもの頃から南アジアの文化や文字に興味があり、ヒンディー語専攻を選びました。そして、現地に身を置いてヒンディー語を学んでみたいと思い、デリー大学に留学しました。しかし、いざデリー大学に到着してみると、授業はいつまでも始まらず、一人一人先生に連絡を取ってお願いをする必要がありました。いきなり大変な思いをしましたが、先生方や事務職員の方たちとヒンディー語を使って交渉したことで自信がつき、良い経験になったと思います。

大学の国際女子寮では様々な国からやってきた学生たちと出会うことができます。同じ時期にインドに到着した学生たちで集まってタージ・マハールを見学に行ったこともありました。ディーワーリーという大きな祭りの際には寮でもパーティーが開かれ、皆サーリーなどに身を包んでお祝いします。寮の文化イベントでは各国の衣装に身を包んでのファッションショーがあり、私も浴衣を着て参加しました。寮母さんや門番さん、食堂の職員たちも皆、親切な方ばかりで、虫除けに効果的な塗り薬は門番さんから教えてもらいました。

休暇にはアムリットサルやジャイプル、ムンバイなどを旅行することができました。ジャイプルで出会ったガイドさんにはヒンディー語で城を案内してもらい、楽しくかつ勉強になる時間を過ごしました。早朝、駅のホームで電車を待ちながら飲む熱々のチャーイは今でも忘れられません。

皆さんも是非、ヒンディー語の世界へ！

ウルドゥー語専攻

السلام علیکم（アッサラーム・アライクム）

ウルドゥー語専攻では、文学、思想の表現手段として、また、多言語社会をつなぐ共通語の一つとして南アジアで重要な役割を果たしてきたウルドゥー語をしっかりと学習したい人、ウルドゥー語を通じてウルドゥー語圏の文学、文化、社会などを深く研究したいと希望する学生を求めています。

パキスタンの新郎新婦

ウルドゥー（Urdū）語は、パキスタンの国語です。インドでも主要言語の一つに数えられています。文字はアラビア文字を用いますが、インド・ヨーロッパ語族に属します。

ウルドゥー語は、インド亜大陸を支配したイスラーム教徒たちの用いていたペルシア語の大きな影響を受けて形成された言語ですので、アラビア語やペルシア語の単語が非常に多く含まれています（ペルシア語はアラビア語の影響を受けましたので、ペルシア語には数多くのアラビア語の単語が含まれています）。ですから、ウルドゥー語を習得すると、日本人が中国語の文章の内容を推測できるように、アラビア語やペルシア語の文章の内容をある程度推測できるようになります。また、ウルドゥー語を勉強すると、ヒンディー語やパンジャーブ語など、他の南アジアの言語に関する知識も身につけることができます。

入学すると、1年次から集中的に文法を学びます。会話と発音はパキスタン人の先生が担当します。2年次には中学・高校レベルの教科書を読み、3・4年次には関心に応じて、文学、文化、社会、経済などに関する専門的な授業を選択します。

南アジア研究には英語の文献が不可欠ですが、南アジアの人々の、英語の資料には現れてこない声を聞くことの大切さを学んで欲しいと思います。

パキスタンの小学4年生用のウルドゥー語教科書

学生の声　2年　前川 和

ウルドゥー語。日本ではあまり馴染みのないこの語感がより一層ウルドゥー語を謎に満ちた言語にしているようです。今回はそんなベールに包まれたウルドゥー語の世界へとあなたを誘いましょう。

ウルドゥー語専攻…1学年約20人という小規模な学科であり、授業も概ね毎日行われるので専攻語内は高校時代を思い出させるようなとてもアットホームな雰囲気です。1年生はあの流麗なアラビア文字の習得から始まり、ウルドゥー語の文法を一通り終えるところまで学習します。言語を学びながら南アジアに関する文化や経済も学んでいきます。実際のところ、日本で報道される南アジアのニュースはテロや紛争に関連したものが多く、特に近年は過激派組織の影響もあり、「イスラーム＝怖い」というイメージを抱いている人々も多いでしょう。私も入学する前までそのような印象を抱いていました。しかし、それは未知である「イスラーム」に関して、断片的に得る情報のみで左右されていたがためにこのような印象を抱いていたのだと、実際にこの1年間イスラーム文化圏のことを学習していく中で気づきました。毎回の授業が新たな発見と驚きの連続であり、まるで南アジアを旅しているかのようです。

全く新しい言語を学ぶため日々の学習は決して平坦ではないですが、個性豊かな先生方と仲間たちに囲まれながら新鮮で心弾む毎日を送っています。あなたも我々と一緒に優美なるウルドゥーの世界を旅してみませんか？

留学体験記　4年　白川 龍之介

私は昨年10月から今年の3月まで、同級生の男2名、女1名の計3名でパキスタンの古都ラーホールにある、パンジャーブ大学オリエンタル・カレッジのウルドゥー文学研究科ディプロマ・コースに留学していました。

ラーホールという街は、街に漂う歴史的な雰囲気が魅力の国内最大級の都市です。賑やかな街で、クラクションが鳴り止むことがなく、最初は道路一つを渡るのにも戸惑いを隠せなかったのを覚えています。

パキスタンでは一般的にイメージされるような危険な状況に遭遇することもなく、基本的なことを守っておけば、安心して過ごすことができます。

人とのつながりを大事にするこの国の人々は、僕が困っていても、いなくても声をかけて下さり、わからないことも丁寧に教えて頂きました。

留学を経てからは並大抵のことでは動じなくなったと思います。この留学以降、自分ならどこでも生活していけるだろうと思えるようになりました。留学を通して自発的に動く大切さを学びました。

パキスタンが変容しつつある時期に留学したことで、この国は今後さらに経済成長し、国際社会での存在感を高めていくと確信しました。

現地での生活を支えて下さった方々を始め、留学生活を共に過ごした友人や手続き諸々を支援して頂いた先生方には感謝しきれません。これからもウルドゥー語を学び、成長し、パキスタンに恩返しができればなと思います。

アラビア語専攻

أَهْلًا وَسَهْلًا（アハラン・ワ・サハラン）

アラビア語専攻では、アラビア語習得への強い意欲を持つと同時に、日本も含めた世界の言語・歴史・社会・文化に限りない関心を寄せ、その学究を通じて多様化する現代社会に対する洞察を深めたい学生を求めています。

カイロ下町風景

アラビア語は、3億人以上の話者を擁すると考えられる世界屈指の大言語であり、その重要性はグローバル化する現代世界においても増大しています。現在アラビア語が話されている地域は、ヨーロッパ・アフリカ・アジアの中間、つまり旧世界の中心に位置し、そこに20を超える国家が存在しています。古代から文明が栄えてきた地域、また石油や天然ガスなどの資源にめぐまれた地域が数多くあり、文化史的にも政治的にも大きな重要性を有しています。さらに言えば、アラビア語は20億人近くが信仰するイスラームの儀礼言語であるため、宗教的重要性という点でも無視することができません。

他方、中世に目を向ければ、大航海時代前夜の地球上で最も広く通じた言語はアラビア語であり、アラブ人大旅行家やイスラーム学者たちは、世界中でこの言語を使って叡智を集積していました。いみじくも、スペイン語、ペルシャ語、スワヒリ語、インドネシア語をはじめとする世界の諸言語に見られる膨大な量のアラビア語由来の単語が、この歴史を物語っています。

本専攻では、1-2年次に文語アラビア語をじっくりと学んだ上で、3-4年次には語学力を駆使しつつ自らのテーマを見つけ出し、最終的には卒業論文という形でまとめてゆきます。本専攻の教員は、古典期から現代までのアラブ文学や、地域ごとに大きく異なる口語アラビア語などを専門としつつ、広くアラブ地域の文化や近隣の諸言語について講じています。

アラビア語は生易しい言語ではありませんが、同時に難解なエニグマでもありません。あなたはこの広いアラビア語の世界と出会い、何を見つけ出すでしょうか。

カイロ大学正門

カイロ大学中庭

学生の声　4年　松村 映歩

「え、アラビア語喋れるの!?」

エジプトに留学中、アラビア語を話すたびに現地の方に言われた言葉です。

アジア人の存在自体が珍しいアラブ諸国でアラビア語を話すと、彼らは本当に嬉しそうに反応してくれました。これが、私がアラビア語を学んでいて本当によかったなと心から思う瞬間です。

「英語でコミュニケーションは十分なのに他の言語をやる必要ある？」という疑問は、多くの方が持つものだと思います。

ただ、言語を学ぶことでその地域を知り、文化を知り、現地の人と現地の言葉で話すことは、お互いが第二言語で話すよりも、はるかに速く深く信頼関係を築くことができる魔法です。そしてそれこそが、大学で言語を学ぶ意味なのではないかと、エジプト留学を通じて強く感じました。

アラビア語専攻では、1、2年生で文法を身につけ、3、4年生で小説やニュースを読んで、文化や政治、そしてアラビア語とは切っても切れないイスラームの価値観を、より深く学びます。文法が複雑なため初めのうちは少し大変ですが、簡単には習得できないからこそ、「アラビア語を操れる」力は世界に通用する財産になるはずです。

世界に2億人以上の話者がいて、国連公用語のひとつとされているにも関わらず、日本ではあまりメジャーでないアラビア語。そんな言語を習得することは、自分の世界を広げる大きなチャンスです。

ぜひ皆さんも、アラビア語専攻から広がるまだ見ぬ世界に飛び込んでみてください！

留学体験記　4年　吉澤 知里

私はピラミッドで有名なエジプトへ9ヶ月留学しました。

期待と不安を抱きながら日本を出発し、エジプト上空で飛行機の窓から見た景色は、まさに砂の王国で、この瞬間に私の中では不安が期待をはるかに上回りました。

私は同期女子3人と一緒にアパートの一室を借りて共同生活を行っていました。見知らぬ地での生活は慣れない場面も多く、お互いに助け合い、他人と価値観をすり合わせながらの生活は大変貴重な経験で、彼女たちと苦楽を共にした留学生活は、かけがえのないものになりました。

語学学校ではエジプト人の先生と一対一で授業を行いました。年齢の近い先生が多く、とても親切で授業はいつも楽しく、エジプト方言の映画や音楽、新聞など様々なものを教材として用いてくれて、アラビア語の知識だけでなく、エジプトやイスラームの文化や出来事、彼女たちの考え方にも理解を深めることができました。また、授業だけではなく、遊びに行ったり、食事をしたり、多くの「エジプト」を教えてくれました。

エジプトは喧騒に包まれながらも、優しさと愛嬌に溢れた国でした。私たちにも親切に接してくれ、漠然と抱いていた不安は徐々に薄れ、期待や興味関心に満ちていました。

何度振り返っても、留学を後悔したことはありません。エジプトに行ったことで、アラビア語やイスラームを肌で感じ、私の人生においてかけがえのない経験となりました。みなさんも、アラブに一歩足を踏み入れてみませんか？

ペルシア語専攻

سلام（サラーム）

ペルシア語専攻では、ペルシア語の着実な運用能力を身につけ、言語を基盤にイランおよび西アジアの文化と社会を深く探究しようとする、知的好奇心にあふれた学生を求めています。

シェイフ・ロトフォッラーモスク（イスファハーン）

ペルシア語はインド・ヨーロッパ語族に属し、英語やドイツ語などとは親戚関係にある言語のひとつです。その言語資料の歴史はかなり古く、古代ペルシア語は紀元前６世紀以降アケメネス王朝の王たちが碑文で用いたのに始まります。

私たちが勉強するのはイランがイスラム化された７世紀半ば以降、９～10世紀にかけて文章語として確立された近世ペルシア語です。この言語は、イスラムの影響で、文字はアラビア文字を用い、大量のアラビア語の単語が借用語として入ってきています。

ペルシア語はもともとはイラン南西部の一方言でしたが、イラン文化の発達と拡大に伴い、中世にはイランだけでなく、東は北インド、アフガニスタン、西はトルコ、北は中央アジアにわたる広大な地域で公用語、学術語として用いられ、イスラム世界においてアラビア語に次ぐ重要な地位を占めました。その名残が現代のタジキスタンのタジク語やアフガニスタンの公用語の一つであるダリー語です。これらの言語は、名称こそ異なれ、実体はペルシア語です。

また、多くの優れた文学作品がペルシア語で書かれました。ゲーテは散文学の古典『カーブースの書』やハーフェズの抒情詩集を耽読し、その啓発を受けて『西東詩集』が生まれたと言われています。とくに詩文学に優れ、19世紀のフィッツジェラルドの英訳で世界中に名声を博したオマル・ハイヤームの『ルバイヤート（四行詩集）』、フェルドウスィーによる英雄叙事詩『王書』、イラン人がもっとも愛好するサアディーの『薔薇園』など世界文学史上に名を留める名作が数多くあります。

イラン文化は東西文化交渉史においても大きな活躍をしています。シルクロードを経てイラン文化が日本に渡来し、少なからざる影響を与えたことはもはや常識となっています。美術では、建築、庭園、陶器、絨毯にも名品が少なくありません。

こうした豊かな伝統に支えられたイラン文化をペルシア語の学習を通して学んでいきます。

学生の声　3年　夏坂 いずみ

ペルシア語って、どこで話されているの？ペルシアっていう国があるの？なんでペルシア語を勉強しようと思ったの？私が大学生になってから、専攻の話になると必ずと言っていいほどこのような質問を受けます。

まず、ペルシア語はイランの公用語であり、この他にはアフガニスタンやタジキスタンでも話されています。授業では主にイランについて、その悠久の歴史と豊かな文化について学んでいます。正直なところ私がペルシア語専攻を受験しようと決めた当時は、このようなことを全く知りませんでした。市販のテキストでは学べない、マイナーな言語を勉強してみたいという思い、そしてヘビが這ったような、まるで暗号に似た文字を使いこなせたらかっこいい！という純粋な言語への興味から、ペルシア語専攻を受験することに決めました。

専攻の授業は一学年20人前後と小規模であるからこそ、先生方やクラスメイトとの距離が近く、いつもアットホームな雰囲気で楽しく授業を受けています。ペルシア語を学ぶことは、同時にペルシア語圏の文化について学ぶことでもあります。日本で暮らしているだけではなかなか触れられないイランの文化に触れ、イランという国のあり方を理解し、世界に対する視野が少なからず広がったように思います。みなさんもぜひ、ペルシア語専攻で新たな世界に足を踏み入れてみませんか？

留学体験記　4年　柳沢 遼

僕のイラン留学は、イランのガズヴィーンという田舎でしゃーやーん（当時23歳男性）と半年間のルームシェアでした。

イランに降り立った僕に、さっそく試練が待ち受けていました。ビザに問題が発覚し「日本に帰れ」と言われ、途方に暮れた僕に救いの手を差し伸べてくれたのが彼、しゃーやーんとその仲間たちでした。彼らはあの手この手で僕が現地でビザを取得する手助けをしてくれました。ちなみに、当時僕はペルシア語は話せませんでしたし、彼らもまた英語を話せませんでした。どうやってコミュニケーションをとったか、覚えていません。きっとこの体験談を読んでいる方も留学先で少なからず同じ経験をすると思います。ともあれ無事にビザを取得し留学生活が始まりました。しゃーやーん達は始終僕につきまとい、暇さえあれば遊びに誘ってきました。しかし、授業もあれば宿題やテストもあり、遊んでばかりはいられません。いられませんが、気が付けば彼と一緒に部屋を借りて毎日遊んで暮らしていました。それなのに、なぜかテストはクラスで一番の成績でした。しゃーやーんが「俺のおかげだな。」と当然のように言ったあの顔が忘れられません。そういえば、その頃には誰とでもペルシア語で話せるようになっていました。以上が僕の留学です。イランは世界史の教科書に写真が載っているように美しい国です。同時に貧しい国ですが、何よりも温かい人々が暮らす国でした。一言で言えば、すごく楽しかった。

トルコ語専攻

Merhaba（メルハバ）

トルコ語専攻では、トルコ共和国の言語と文化、歴史、社会に強い関心を寄せ、その公用語であるトルコ語の習得に対する熱意を保ちながら、異文化理解への意欲を決して蔑ろにすることなく、トルコひいては東地中海地域やイスラム文化圏、またトルコ系諸語が話されている中央ユーラシアについて探求したいと志す学生を求めています。

世界遺産「スルタンアフメト・モスク」

ボスポラス海峡をはさんで、アジアとヨーロッパの両大陸にまたがる国トルコは、日本の２倍強の国土を有し、そこにはおよそ7500万人の人々が住んでいます。

トルコ共和国の公用語であるトルコ語とはどんな言葉なのでしょうか。トルコ語は、いろいろな意味で英語とは違うところの多い言葉です。そのためか、ヨーロッパなどでは、トルコ語は難しいと言われることがあります。では、私たちにとってはどうでしょうか。もちろん外国語ですから簡単なわけはないのですが、それほど難しくはないと言ってもいいでしょう。発音は取っつきにくい点もありますが、比較的早い時期に慣れることができるでしょう。単語の語形変化も規則的で、何ページもある不規則動詞の活用表の暗記に苦しむ、ということはありません。そして、何と言ってもうれしいのが語順です。トルコ語の基本語順は、主語ー目的語ー述語の順番で、日本語と同じです。前置詞や関係詞などはなく、日本語の助詞のようなもので文法関係を表します。また、文字がローマ字であることも、学習しやすい点のひとつです。

トルコ語は、系統的には、中央アジアで話されているウズベク語やウイグル語やカザフ語、シベリアで話されているヤクート語などと親戚関係にあります。

パジャパー（カッパドキア）

授業科目を簡単に紹介しておきますと、1･2年生ではトルコ語実習が中心となります。3･4年生では、上級トルコ語、トルコ語文法研究、トルコ文学、トルコ民族史などをはじめとする専門的な授業が組まれています。

社会人となる前に、私たちの専攻で、青春のエネルギーをぶつけて自己形成に挑戦してみませんか。

学生の声　4年　篠原 正樹

メルハバ！トルコ語で「こんにちは」という意味の言葉です。皆さんはトルコと聞くと何を思い浮かべますか？イスタンブル、カッパドキア、トルコアイス、ケバブ。この辺りでしょうか？トルコという国には、歴史的な建造物から、絶景の大自然、美味しい食事などたくさん魅力があります。最近では、旅行先としても非常に人気が高まってきました。トルコ語専攻では、トルコ語の文法はもちろん、文化や歴史に関して様々な観点で学ぶことができます。文字自体もアルファベットであったり、文法構造が日本語に近かったりと、意外に取っ付きやすいんです！もちろん発音の違いや、似ている文法の中にも違いはありますが、そこは先生方が分かりやすく教えてくれます。先生方は、それぞれの研究分野のエキスパートで、授業中のお話（少し脱線した時も然り。）は非常に興味深いです！トルコ語専攻に興味を持ってくださったみなさん、是非一緒に学びましょう！

留学体験記　4年　濵田 朱莉

私のボアジチ大学への留学は大学での勉学だけでなく、シリア難民の支援の在り方、そしてイスタンブルを織りなす人々の多様性を感じられるものとなりました。

私はシリア難民問題や現地の人々と移民の共生に関心があり、istanbul&i という現地のボランティア団体に所属し、シリア人の子どもたちにトルコ語を教える活動や、異文化紹介イベント、トルコ語や英語のスピーキングクラブなど地域住民の交流を促進する活動に従事しました。この団体はトルコ人だけでなくアメリカやエジプトなど他国出身の人々から成り、イベントを通じても様々な背景を持った人々と交流することができました。

もう１つお世話になったのはPiece of Syriaという日本人の方が立ち上げたシリア難民支援団体です。トルコのシリア難民補習校の見学や、難民に関わる様々な知識を教えてもらい、現在も国内の活動に携わらせてもらっています。

留学で得た人との縁、学び、体験はここには書き切れません。ですが、留学で得たこれらのものが今も私の生活の一部になり、かけがえのない思い出となっていることに何よりも喜びを感じます。

スワヒリ語専攻

Habari gani？（ハバリ ガニ?）

スワヒリ語専攻では、東アフリカのスワヒリ語のみならず、広くアフリカの言語や文化、そしてアフリカが直面する同時代的な問題について学んでいきます。アフリカの言語に関心がある人はもちろんのこと、アフリカを通して世界のグローバルな問題について考え、取り組んでいきたいと希望する学生を求めています。

キリマンジャロの雄姿

アフリカには 2000 近くの言語があります。その中でも、スワヒリ語は最も主要な言語の一つです。スワヒリ語は東アフリカの共通語として、タンザニア、ケニア、ウガンダなど 10 カ国以上で話されており、話者数は 7 千万人を超えています。タンザニアとケニアの公用語であり、東アフリカ諸国の学校教育やマスメディアで用いられている重要な言語です。

本専攻は日本で唯一、学部からスワヒリ語を専門科目として学ぶことができるところです。そして、スワヒリ語を入り口としてアフリカの言語や文化、社会や政治について広く学んでいきます。

スワヒリ語の他に、ナイジェリアの主要な言語であるヨルバ語やハウサ語、コンゴ民主共和国のリンガラ語やコンゴ語などを学ぶことができます。また、アフリカの社会や政治経済、文化、文学などに関する講義科目があり、現地でフィールドワークをおこなっている多彩な研究者から、アフリカのさまざまな民族や社会の様子を知ることができます。ゼミでは、アフリカの諸問題や言語・文化について、各自が興味をもつテーマを選び、みなで議論する中で考えを深め、卒論へと仕上げていきます。

アフリカは現在 55 カ国を数え、急速な経済発展を見せる一方、植民地時代の負の遺産を背負ったまま、貧困や政情不安、紛争など多くの問題を抱えています。グローバル時代の現代にあって、遠く離れている日本も、アフリカの現状は決して無関係なものではありません。アフリカを深く理解し、アフリカとの関わり方を考えていくことが、国際社会の一員である私達にも求められています。スワヒリ語を学ぶことから、その第一歩を踏み出してみませんか。

スワヒリ語専攻は仲がいいよ（語劇祭にて）

学生の声　3年　江本 陽香

私はアフリカの布のカラフルな色使いに魅力を感じ、アフリカ大陸に興味を持ちました。アフリカといえば、紛争や貧困のイメージを持つ人が多いと思います。しかし、アフリカはたくさんの文化、言語がある多様性にあふれる大陸です。スワヒリ語専攻ではスワヒリ語の学習だけでなく、アフリカの文化に触れる機会がたくさんあります。スワヒリ語劇を披露したり、南アフリカ人の音楽家の演奏を聴いて実際に伝統楽器を演奏してみたり、いちょう祭で民族衣装を着てみたり、アフリカ料理パーティでスワヒリ料理を作ってみたり・・・と実際に経験することで学べることがあります。ネイティブの先生の授業もあり、生のスワヒリ語をこれほど学べる場はここにしかありません。

スワヒリ語はアルファベット表記で発音も日本語と似ているため比較的入りやすい言語です。ライオンキングでおなじみの「ハクナ マタタ」はスワヒリ語で「問題ない、大丈夫」の意味で、意外なところでスワヒリ語を見つけたりします。スワヒリ語専攻だからといってスワヒリ語しか学べないわけではなく、コンゴ語やヨルバ語などアフリカで話されている言葉や英語、フランス語、ドイツ語などたくさんの言語を学ぶ環境があります。アフリカに興味がある！たくさんの言語を学んでみたい！という方はぜひスワヒリ語専攻に来てください！ネガティブなイメージではない多様性に満ちた魅力的なアフリカの新しい一面を知ることができますよ。

民族衣装を着た仲間と一緒に

留学体験記　4年　山敷 瑠菜

大学生がアフリカへ行く目的は、ボランティア、旅行、インターンなど様々ありますが、「現地の人々と友達になりたい！」と思った私が選んだのは、留学という選択肢でした。タンザニアの首都にあるダルエスサラーム大学に10ヶ月半留学し、言語学やスワヒリ語を学びました。

ほぼすべての国民がスワヒリ語を話せるタンザニアは、スワヒリ語が好きだった私にとって最高の学び場で、関わる人みんなが私の先生になってくれました。毎日通っていた食堂には、私の顔と名前を覚えてくれている従業員さんがたくさんいたのですが、私がスワヒリ語文法に関する質問をすると「るながまた難しいことを質問してきたぞ！」と言いながら、みんなで頭を突き合わせて真剣に考え議論してくれました。その会話を聞いている時間が私はとても好きでした。

留学中は現地の学生と同じ寮で生活していたのですが、停電や断水は日常茶飯事でしたし、洗濯はすべて手洗いでした。バスには時刻表がないのでバス停で何十分も待ちぼうけになることもありました。何をするにも日本での生活と比べて何倍もの時間がかかりましたが、今思うとその「無駄」な時間はとても贅沢なものだったように感じます。ご近所さんと何気なく話したり、自分とじっくり向き合ったりする時間は、速さと効率が追求された社会では生まれにくいものです。スワヒリ語専攻に入学した学生さんにはぜひアフリカでのスローライフを経験してほしいと思います。

同じ授業を受けていた友人たちと

ロシア語専攻

ЗДРАВСТВУЙТЕ!（ズドラーストヴィチェ!）

ロシア語専攻では、ロシア語圏の社会、歴史、文化、芸術、そして言語に大いに関心を持つ学生、そして何よりも、様々なことに好奇心を持ち、自分で考え、将来専門家として歩む自覚を持っている学生を求めています。

エルミタージュ美術館

日本海を越えれば、そこにはもう広大なロシアの大地が広がっています。歴史的、経済的、政治的にとても深い関係にあるロシアと日本。この二つの国が、これからの世界で互いに脅かすことなく理解し合い、助け合いながら共に発展していくことは、双方の国にとって、そして世界全体にとってとても重要な課題となっています。

また昨今は、最重要な経済パートナーとして日本の産業界はロシアへの関心を高めており、政治、経済、行政等、様々な分野で、ロシア語能力を持つ人材が広く求められており、卒業生の活躍の場はどんどん広がっています。

ロシア語専攻では、外国語学部でもいち早く統一教材を用いた、総合授業システムを採用しています。総合授業システムとは、話す、聞く、書く、読むというロシア語の４技能を総合的に学習し、全体として、学習言語による実際的な活動を可能にする異文化コミュニケーション・行動能力を高めることを目指すシステムです。クラスは少人数制で、学年ごとの「到達度目標」に従って授業は進められます。

また、ロシア語能力検定試験を導入し、客観的な評価基準による単位認定を行っています。

後期課程（3・4 年生）では、ロシアの文学・歴史・経済・言語といった専門分野の研究に加え、ビジネスロシア語などの高度なロシア語運用能力を育成する授業も開講されており、将来、ロシア語を使った専門職に就くための準備も積極的におこなっています。

みなさんも私たちと共に勉強して、「ロシア」という未知の扉をたたいてみませんか?

アイスバレエ（サンクトペテルブルク）

学生の声　4年　高岡 美里

なぜロシア語を学ぶのか。旅行や留学に行きたい、歴史に興味がある、将来ロシアとビジネスがしたいなど、皆それぞれの思いを胸にロシア語専攻にやってきます。私の場合は、「芸術の宝庫ロシア」への憧れ、特に文学作品への興味でした。

「極寒でウォッカを飲んでいてスパイがいる国」映画などではこんな風に描かれることも多いロシアですが、実は知れば知るほどたくさんの魅力に溢れた国なのです。ロシア語専攻にはその奥深さを発見するための環境が整っています。文法などを学び言語を身につけることはもちろん、様々な専門をお持ちの先生方の丁寧なご指導の下、政治、経済、歴史、文化、芸術、言語学なども総合的に学び、自分の関心を深めていくことができます。それだけではなく、ロシアの料理を実際に作ったり、ロシアの歌を聴いたり歌ったりすることもあります。課外活動では、「ロシア語劇」といって、ロシア語を用いて演劇を行うこともあります。また、豊富な留学制度や留学生チューターアルバイトなど、国際感覚と多角的な視点を養うことのできる機会もあり、多くの学生たちはこれらを活用しています。

このように充実した毎日を過ごす中で、私自身、今まで見たことのなかった新たな世界が開け、新しい自分と出会い、大きな心の拠り所ができました。そしてこれから生きていく上での素晴らしい糧を得ました。皆さんも、ロシア語を学んで、自らの可能性の扉を開いてみませんか？

留学体験記　4年　花畑 千華

私はモスクワに約８か月間留学しました。私の留学先であるモスクワ国立言語大学にはアジア、ヨーロッパ、アフリカ、南アメリカなど非常に様々な国・地域から留学生が集まっており、彼らと共に生活しロシア語を学びました。ロシア語を学ぶ人たちのバックグラウンドは非常に多彩で、その中で日本人は少数派です。ロシア留学ではただロシア語を学びロシア文化を知るだけでなく、世界中の学生たちと交流し互いに切磋琢磨できます。また、当校には日本語学科がありそこで学ぶロシア人と共に授業を受けることも可能です。このようにロシアと世界の両方と繋がることが出来るハイブリッドさがロシア留学の醍醐味です。

私が留学に行って気付いたロシア語を学ぶ魅力は、世界とより親密に繋がることが出来ることです。私は留学中にトルコへ旅行に行きましたが、そこでウズベキスタン人やタジキスタン人と友達になりました。ロシア語を知っていることで、英語を使うよりも世界の多くの人と親密になることができます。

モスクワはロシア最大の近代都市です。冬場でも毎日シャワーのお湯が出るし、ヤンデクス・イーツですぐに何でも食べられます。若者はまるで西欧のヨーロピアンのよう。そんな近代都市モスクワのどこに「ロシアらしさ」にあるかというと、それはロシア人達の内側にあります。ぜひ留学に行って彼らと交流し、外側からは見えないロシアに触れてください。きっと、あなたの人生全体に通ずる洞察が得られるでしょう。

ハンガリー語専攻

Jó napot kívánok! (ヨー・ナポト・キーバーノク)

ハンガリー語専攻では、ハンガリー語とハンガリー語が話されている地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーだけでなくヨーロッパ全般への関心と理解をもち、将来大学で学んだことを生かして積極的に社会で活躍したいと願っている学生を求めています。

ブダとペシュトを最初に結んだ橋「くさり橋」

ハンガリー語を専攻語として学ぶことができるのは、日本では本学だけです。ハンガリー語は最も新しい専攻語ですが、それでもできてからすでに 20 年が経ちました。その間に、日本とハンガリーの関係も大きく変わってきました。日本・ハンガリー両国の交流は、1989 年にハンガリーが体制転換した少し前から、経済、文化その他さまざまな分野で急速に発展してきました。ハンガリーでの日本語学習熱の高まりもそのあらわれの一つです。ハンガリーは 2004 年 5 月に EU に加盟を果たしました。今後、両国の関係はますます発展していくことでしょう。きっと将来、皆さんのなかから、両国関係のさらなる進展に貢献する人が現れることでしょう。

ではハンガリー語とは、そもそもどんな言葉なのでしょうか。不思議な言語だと言われることがあります。そう言われる理由は、ハンガリー語の文法構造や語彙が、他のヨーロッパの言語と比べて、かなり違っているからです。それで、ヨーロッパの人々から見ると、ときに不可解だと思えるようです。でもヨーロッパの外、たとえば日本から見れば、別に不可解なわけではありません。それどころか、日本語と似た点もあるのです。ハンガリー語では日本語の助詞（てにをは）と同じような働きをする要素（接尾辞）が用いられます。なお、ハンガリー語は系統的にはウラル語族に属しますが、ヨーロッパではほかにフィンランド語やエストニア語もウラル語族です。最初の 2 年間は、ハンガリー語の習得が勉強の中心になります。3、4 年生になると、それぞれの興味にしたがって、ハンガリーの言語学、文学、歴史などについて学ぶことができますが、そのときに、1、2 年生のときに身につけたハンガリー語を活かすことが大切になってきます。

ヨーロッパの中で、ちょっとほかとは違う特徴をもった言語と文化を、皆さんも勉強してみませんか。きっと今までとはちがう新しい世界が見えてくることでしょう。

学生の声　4年　笹倉 由貴

Jó napot kívánok! こんにちは！突然ですが、みなさんはハンガリーが発明大国であることをご存知ですか？実はルービックキューブ、ボールペンを発明したのも、ビタミン C を発見したのもハンガリー人。ノーベル賞受賞者もたくさん輩出しています。でも、凄いのはそれだけではありません。大阪大学のハンガリー語専攻に入学すれば、もっとハンガリーの魅力に触れることができます！

せっかくなのでハンガリーに親しみを感じられる知識を紹介します。意外にもハンガリーと日本には共通点があります。例えば、名字と名前の順は名字が先。住所も大きい行政単位から書く決まりです。温泉が多く、たくさんの観光客が訪れることでも有名。なんだかぐっと身近に感じますよね！

ハンガリー語専攻の特徴はまず、日本で大阪大学にしかないということ。言語はもちろん、文化や歴史、社会についても専門的に学べます。授業には小説の翻訳や日本文化をハンガリー語で紹介する本の制作といったユニークなものも！たとえわからないことがあっても、1学年 15 人ほどの和気あいあいとした雰囲気の中、優しい先生方にどんどん質問することができます。留学制度も充実しているので、毎年多くの学生が短期はもちろん、長期留学をしているのも魅力の一つです。

ハンガリー語専攻は丁寧な指導のもと、興味のあることはなんでも取り組むことができます。私たちと一緒にハンガリー語を学んでみませんか？会えるのをお待ちしています！それではまた！ Viszontlátásra!

留学体験記　4年　中谷 美結

【ハンガリーのいいところ】①物価が安い（日本の半分くらいのイメージ）。②世界一が意外とたくさんある（世界一美しいマクドナルド、カフェ、国会議事堂など）。③帰ってきてから話に困らない（絶対話に食いついてくれる）。ほんんんんんとうにオススメです。

【留学】私はハンガリー政府からの奨学金を頂き、首都にある ELTE（エルテ）大学に 10 か月間留学していました。この ELTE 大学はいい意味でも悪い意味でも自由度が非常に高かったです。授業が週に 7 コマ程度なので自分で授業以外にもやりたいことができる一方で、自らアクションを起こさなければ、時間が有り余ってしまうということです。私個人としては、授業数が少ないと感じたので、現地学生用の授業の受講を認めてもらえるよう教授に直談判をしに行ったり、研究機関のインターンシップに参加したりしていました。この留学を通じてもちろん語学力は向上したと思っています。しかしもっと大事な『自分で自分の環境を整える力、違いを楽しむ姿勢、新しい環境にも恐れず飛び込んでいく力』を身につけることができた点で、この留学は私の人生に必要な経験だったと感じています。

ハンガリーで迎えた私の誕生日に友人が企画してくれたサプライズ誕生日会での様子です。バースデーケーキならぬ巨大バースデーハンバーガーを用意してくれました（笑）。

デンマーク語専攻

Goddag! Hej!

（くだけた言い方）
（「ゴデー」「ハイ」）

デンマーク語専攻では、デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求したいと希望する学生を求めています。

森の中での自然保育

スウェーデン語専攻

Goddag! Hej!

（より日常的な挨拶）
（「ゴダー」「ヘイ」）

スウェーデン語専攻では、スウェーデン語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してスウェーデンの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求したいと希望する学生を求めています。

カール・フォン・リネーのハンマルビー別邸（ウップサーラ郊外）にて

デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻は最初、1966 年 4 月に大阪外国語大学デンマーク語学科として開設され、1985 年 4 月にはスウェーデン語課程が加えられデンマーク・スウェーデン語学科となりました。そして、2007 年 10 月から大阪大学外国語学部デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻として新たにスタートしました。国立大学では唯一の北欧に関する教育機関です。教育の対象は、デンマーク、スウェーデンを中心とする北欧の言語、文学、社会、歴史です。2 年次までは専攻とする一方の言語を集中的に学習します。「読み、書き、話す」に同じ比重が置かれ、外国人教員は最初の段階からデンマーク語もしくはスウェーデン語のみで授業を行ないます。また、初年次には北欧事情の講義が、2 年次には両国の文学、社会、歴史に関する概説的な講義もあります。3 年次になると、自分の関心に応じて、言語、文学、社会、歴史いずれか 1 つの特別演習（ゼミ）を選択し 4 年次の卒論執筆に向けて準備が始まります。授業を担当するのは、それぞれの分野を専門とする両専攻の教員です。ちなみに、3･4 年次ではもう一方の言語やノルウェー語、古アイスランド語も学習することができます。

デンマーク語とスウェーデン語は、ノルウェー語、アイスランド語、フェーロー語とともに北ゲルマン語を構成しています（北ゲルマン語は英語、ドイツ語、オランダ語などと系統的に近い関係にありますが、北欧地域圏で話されているフィンランド語やグリーンランド語はまったく別系統の言語です）。北ゲルマン語はフィンランドの一部を含めると北欧では約 2 千数百万人によって使用されています。このうち、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語の 3 言語の話者の間では、時には多少の困難があるにせよ、それぞれの言語を用いて相互に意思の疎通ができます。したがって、これらの 1 言語を会得すれば、他の 2 言語もかなりの程度まで理解できます。文字の特徴としては、英語で使われる 26 のアルファベットの他に、å（3 言語共通）、æ、ø（デ、ノ）、ä、ö（ス）があります。北欧の言語を理解できる人は日本には多くありません。みなさんにはパイオニアの意気込みをもって励んでもらいたいと思います。そして、福祉制度や民主主義が確固と根をおろしている北欧の国々を深く知ることによって、世界を複眼的に展望し、文化はもちろん、国際情勢をもグローバルな視点から把握する能力を身につけてほしいと思います。

北欧を実地体験して理解する手段として留学や現地での夏期語学講座参加も大いに考えられましょう。デンマーク語を専攻する学生の場合は、デンマーク政府の奨学金（9～10ヶ月間）による国費留学生として、毎年日本から 5 名デンマークに留学できますが、本学からは 1 ～ 2 名が合格しています。また、2･3 年生のときにデンマーク政府の短期奨学金（3 週間）を得て、デンマーク語の夏期講座に参加する学生も年々増加傾向にあり、2019 年には 13 名の学生が奨学金を得ることができました。さらに私費でフォルケホイスコーレという寄宿制の学校に半年間、あるいは 1 年間留学する学生や、夏期休暇中にさまざまなコース（デンマークの文化と言語、工芸、ダンス、音楽など）に参加する学生も多数います。

一方、スウェーデン語専攻でも、3 年次の 8 月中旬から翌年 6 月中旬まで、多くの学生が私費で成人教育機関であるフォルクフーグスコーラに留学し、テキスタイルや音楽、美術、野外活動など自分の興味に応じたコースで、スウェーデン人と共に学んでいます。また、3 年次以降に協定先の大学へ留学し専門性の高い授業を受けたり、夏休みを利用してサマーコースに参加し語学力をブラッシュアップする学生もいます。

なお、本学はデンマークのコペンハーゲン大学と南デンマーク大学ならびにスウェーデンのイェーテボリ大学と学生交流の協定を結んでおり、毎年、両大学へ若干名の学生が留学することができます。また、2017 年にはストックホルム大学アジア・中東・トルコ学部と部局間協定が結ばれ、留学先の幅がさらに広がりました。

卒業生はメーカー、商社、金融機関、旅行社、マスメディア、北欧資本の大企業、公務員、教育研究機関、北欧各地の日本大使館や駐日の北欧の大使館などで活躍しています。また、卒業後さらに研究を続けたい人は本学の大学院へ進学することも考えられましょう。

みなさんが、今後日本における北欧学の最先端の役割を担うことを期待しています。

（デンマーク語）

学生の声　3年　飯島 菜花

「デンマーク」と聞くと、どんなことが思い浮かぶでしょうか。作家アンデルセン、高福祉社会、優れたデザインや家具。デンマークは文化的にも社会的にも魅力に溢れた国であり、そんな多面的な魅力に迫ることができるのは、国公立大学ではこのデンマーク語専攻だけです。

専攻語の授業は20人程の少人数で、アットホームな雰囲気の中進められます。授業では言語的な知識はもちろん、文化や習慣にも触れていきます。例えば、家族や友達との時間を大切にしたり、暮らしの中で自然を感じたり。彼らの気取らない、時間がゆっくり流れるような文化・ライフスタイルには憧れを抱きます。

デンマーク語専攻はそんな彼らの文化を肌で感じられる機会にも恵まれています。例えば交換留学や政府奨学金、フォルケホイスコーレなど留学の形態が豊富にあります。実際に私は2年生の夏に短期留学をしました。現地の人と生活を共にすることで、今まで学んできたものが単なる知識ではなく生きたものであると実感でき、その後の学習のモチベーションにもつながっています。

また、デンマーク語専攻では3年生になると言語・文学・社会・歴史の4つの分野に分かれてそれを研究していくことができます。同じ専攻内でもデンマークの教育に興味がある人、福祉に興味がある人、文学に興味がある人など、興味の方向は多様です。様々な角度からデンマークの魅力にアプローチできるこの専攻で、是非一緒に学んでみませんか？

留学体験記　4年　高槻 侑香

私は、デンマークへ二度留学しました。一回目は大学で、二回目はフォルケというデンマーク発祥の教育機関で過ごしました。

入学当初の私は、留学したいなんて微塵も思いませんでした。そんな私がなぜ留学したか？答えは、デンマーク語専攻ファミリーに入ったから。北欧の興味深い話を沢山聞かせて下さる先生方、いつもデンマークに興味津々な仲間達、皆に鼓舞され、いつしか自分の目でその世界を見たい！と思うようになったのです。

そこで、南デンマーク大学で行われた1ヶ月間のサマーコースに参加しました。世界各国から集まった方々と共にデンマークについて学び、様々なイベントを通して異文化交流を深めることが出来ました。そしてより深くデンマークを知りたい！と考えた私は二回目の留学を決意し、より沢山のデンマーク人と関わることのできるフォルケに参加しました。

正直、言語や文化の壁に何度も苦しんだ留学生活でした。ですが、多様な手段で自己表現する彼らのクリエイティブさを肌身で感じたり、研究のフィールドワークを実現させたり、友達と上手く会話できるようになったりと、毎日が学びと成長に溢れていました。楽しいことも辛く苦しいことも、様々な挑戦も失敗も、全てが今の私の礎です。間違いなく、人生の中で最も挑戦的で、意義のある時間であったと胸を張って言えます。百聞は一見に如かず、という言葉の通り、ぜひ皆さんにも自分の目で見て、感じて欲しいと思います。

（スウェーデン語）

学生の声　3年　冨田 麻友

Hej!

私が受験生の時に、どの専攻にしようか迷い各国について調べていると、「毎日音楽を聴いているSpotifyも、私の部屋の家具を買ったIKEAも、H&MもVolvoも全部スウェーデン企業だ！」ということに気付きました。当時、人口僅か1000万人ほどのスウェーデンがどうしてこれだけ多くの世界的企業を輩出しているのか気になり、また、日本で北欧について勉強できる唯一の国立大学ということもあり、最終的にスウェーデン語専攻を選びました。

スウェーデン語を実際に学び始めると、たくさんある単語の活用を覚えたり、発音するのに苦労しましたが、スウェーデン語専攻は先生と学生の距離が近く、わからない点はすぐに質問して解決できました。また、スウェーデンはデザインが有名なこともあり教科書が可愛いので、楽しみながら学ぶことができます。

私のスウェーデン語専攻のオススメポイントは独自の行事です。特に毎年12月に開かれるルシア祭では、北欧の伝統料理や飲み物がふるまわれ、真っ白の衣装に身を包み歌を歌ったりして皆で楽しみます。また、語劇祭にも毎年参加しており、本番に向けて半年かけて皆で準備をします。このような行事を通して、クラスメイトはもちろんのこと、先輩方や留学生、先生方との親交を深めることができます。

スウェーデン語専攻に入ればスウェーデン愛が深まること間違いなし！みなさんもスウェーデン語を通して、スウェーデンの様々な文化に触れてみませんか？

留学体験記　4年　岸本 絵里香

『アナと雪の女王』劇中歌のスウェーデン語版でスウェーデン語に一目惚れならぬ一耳惚れをしてスウェーデン語専攻に入学した私は、より生のスウェーデン語に浸りたいと思いフォルクフーグスコーラへの留学を決めました。

学校はグレッベスタッドという森と海と岩山が綺麗な西海岸の港町で、絵を描いたり木材を使って雑貨や小さな家具を作ったりするコースに通っていました。しかしその木工が想像以上に難しく怪我をすることもしばしば。木工作業が大変でスウェーデン語どころではなくなってしまい、北欧特有の暗い冬にはひどく落ち込むこともありました。そんな時はスウェーデンのコーヒーブレイク、フィーカの時間に気分転換。学校では毎日フィーカの時間があり、木工作業から離れ気軽に友人と話すことができました。また、授業のない週末には隣町まで足を延ばし学校とは違うコミュニティでスウェーデン語を楽しんだりもしていました。こうして過ごしているうちに、はじめは大きな壁だったスウェーデン語がいつの間にか自分の大きな味方にもなっていて、とても不思議な気持ちになります。

スウェーデンは英語だけでも十分生活できる国ですが、スウェーデン語が話せたから経験できたこと、感じられたことが沢山ありました。留学を通して日本からは知り得なかった良いところも悪いところも知り、もっとスウェーデンが好きになりました。皆さんもリアルなスウェーデンを肌で感じてみませんか。

ドイツ語専攻

Guten Tag!　（グーテン・ターク）

ドイツ語専攻では、ドイツ語を意欲的に習得し、それを駆使してドイツ語圏の言語や文学、文化、社会や歴史に関する専門的な知識を身につけ、学んだ成果を生かして社会に貢献したいという情熱を持った学生を求めています。

ドイツ語は、ドイツだけでなく、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインなどの中部ヨーロッパの国々に住む１億人ほどの人々が母語として用いている言語です。その他にもチェコ、ハンガリー、ポーランド、ロシアなど東欧諸国においては、英語に劣らず重要視されています。数あるヨーロッパ諸言語の中でも、ヨーロッパの文化や学問の形成に深く関わってきた言語であるといえます。また現在、ドイツは EU（ヨーロッパ連合）の有力な一員であり、経済やエコロジーの分野で世界的レベルの重要な役割を果たしています。ドイツ語の学習を通してこのようなすぐれた文化や社会に触れることができます。

ドイツ語専攻では、日本人６名、ドイツ人１名の教員を擁し、その他にも10数名の日本人、ドイツ人、スイス人の講師がさまざまな授業を担当しています。ドイツ語専攻に入学すると、まず前期課程の２年間は文法・作文・購読・会話・LL などの科目によって、ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する基礎知識を学びます。ドイツ語の言語的知識とコミュニケーション能力を鍛錬する科目と並んで、講義や購読において、ドイツ語圏の社会・文化・言語などに関する知識を深め、3、4年生におけるドイツ語圏文化研究のための土台を築くことになります。

3、4年生（後期課程）では言語、文学、文化、思想、歴史などといった多彩な分野の演習科目が用意されており、自分が関心を持つ学問分野をベースキャンプとして選択し、そこで専門的知識を深め、学生生活の総決算である卒業論文を作成します。またこれと並行して関連する研究科目および会話や作文などのドイツ語運用能力を高める科目も必修科目となっています。このように整備されたプログラムと高い専門性を備えたドイツ語専攻を卒業した後は、ドイツ語のスペシャリストあるいはドイツ語圏の国々で活躍できるエキスパートとしての将来が皆さんを待ちうけています。

学生の声　　4年　貞包 理沙

みなさん、ドイツと聞いて何を思い浮かべますか？

ビールやソーセージなどの食文化、ベートーベンやバッハなどで知られるクラシック音楽、あるいはサッカー強豪国といったイメージでしょうか。また、ドイツは世界的に見ても強力な経済拠点であり、EU 内ではリーダー的な立場で活躍している国でもあります。私自身、そんなドイツの経済的・政治的な影響力の大きさから学ぶことも多いのではないかと思い、ドイツ語専攻を選びました。

しかし、それらはドイツの魅力のほんの一部にすぎません。ドイツ語専攻で学ぶことで、ドイツの、もう一歩踏み込んだところまで知ることができます。

ドイツ語専攻では、最初の２年間は文法や会話を重点的に学習し、3・4 年生では文学、歴史、哲学、言語学、演劇など、様々な種類のより専門的な授業を受けることができます。初めは見慣れない文法構造や独特の力強い発音に戸惑ってしまうかもしれませんが、両者とも理路整然とした規則があるので、意外と学びやすい言語だと思います。授業で扱うドイツ語の様々な文献を通して、日本では伝えられていない実際のドイツを知ることが、とても面白いです。

ドイツ語やドイツの価値観・考え方を学べば学ぶほど、ドイツの奥深い魅力にはまっていくことでしょう。是非みなさんもドイツ語を学んでみませんか？

留学体験記　　4年　中村 桃子

学んできたドイツ語を実際の会話に生かし、現地で暮らす人々の感覚に触れたいと考え、特に興味のあった児童文学の講座があるフランクフルト大学に留学しました。

大学では留学生向けの語学コースやドイツ語での講義を受けました。スポーツ講座もあり、私は日本風の武術を学ぶ「忍術」を選びました。また大学には日本語専攻があり、日本語を学ぶ学生とも交流できました。

大学外では「タンデム」という、日本人と現地の人の交流会に毎週参加し、自国の語学や文化を教え合いました。ドイツ人だけでなく、移民や他国からの留学生など多様な背景を持つ人が参加しており、彼らと交流し友人になれたことは貴重な経験でした。休日はオペラ鑑賞、ゲーム好きが高じて現地のゲームファンの交流会に参加するなど、文化にも親しみました。最初は現地の生きた会話に不慣れで、思うように話せずもどかしかったですが、交流を重ねるうちに会話も上達していきました。

私は今回が初めての海外渡航だったので海外での暮らしに不安があり、半年の短期留学にしました。しかし、1 年などもう少し長い期間、留学すればよかったと心残りもあります。実際に留学すると不安は杞憂でしたし、現地の人々の感覚への理解も深まり、半年が終わる頃にはもっと知りたいと思うようになっていました。生活習慣や各種制度の違いなど、わからず戸惑うこともありましたが、周囲の支えもあり、語学力に加えて視野も広がり、大きな糧となりました。

英語専攻

Good Morning/Afternoon/Evening. Hello/Hi!

英語専攻では、実社会・世界で活躍できる高度な実践的英語運用能力を涵養するとともに、英米の言語、文学、文化、歴史、政経、国際ビジネスの各分野において専門的知識を身につけ、自らの主張を明確に発信しようとする学生を求めています。

グローバル化が進む現在、英語は、あらゆる領域においてインタラクティヴに最新の情報を交換するコミュニケーションに不可欠な世界言語として、極めて重要な役割を果たしています。

英語専攻は、グローバルに活躍できる高度な実践的英語力と専門知識、そして自らの主張を明確に発信できるコミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目標にしています。この目標に向かって、1、2年次に、徹底した語学実習により高い英語運用能力を養い、3年次進級要件となる基準レベル（TOEIC 730点、英検　準1級等）を上回る英語力を涵養するとともに、言語学的に見た英語の姿、英語圏の文学・文化についても幅広い知識を身につけます。進級後の3、4年次では、ネイティブ教員によるDiscussionの上級クラス、Essay Writing、同時通訳を含む多様な専攻語科目により、さらなる英語運用能力の強化を図ります。

また3年次から専門的研究授業を受講するとともに、文学・文化系、言語系、歴史・政経系の中からゼミを選択。卒業までの2年間、ゼミで、専門書購読、調査・研究、プレゼンテーション、討論により専攻領域への理解を深め、英語による卒業論文の執筆が研究の集大成となります。

外国語学部英語専攻の最大の特徴は、プラクティカルとアカデミックの両面で卓越した英語運用能力があってはじめて成立する国際水準の最先端の学問を追究するという点です。そのためにも、皮相的な英語力ではなく、将来を切り開くうえで大きな糧となる思考能力、教養ある国際人が持つ高度なコミュニケーション能力の習得が期待されます。

前身の大阪外大の徹底した少人数教育によって鍛え上げられた英語専攻の卒業生は、商社、製造、金融、流通、運輸、マスコミ、観光、通訳・翻訳、官公庁、教育など、多方面で活躍しています。大学院に進学し、研究者として活躍している人材も少なくありません。優秀な卒業生を輩出してきた外大の伝統を受け継ぎ、いっそうの飛躍を遂げる英語専攻は、皆さんの入学を心よりお待ちしています。

学生の声　4年　藤保 真一

みなさん、こんにちは。今日はみなさんに私が感じる英語専攻の魅力をお伝えできればなと思います。

まず一つは、個性的で刺激的な仲間に出会えること。全国から英語を学びたいという仲間が集まってきます。素敵なブリティッシュアクセントで英語を話す人、言語学を楽しそうに笑顔で話す人、海外経験を持ち英語でかっこよくコミュニケーションを取れる人など、様々です。そうした刺激的な環境の中で、2年生までに「読む・書く・聞く・話す」の4技能を実践的なレベルまで高め、3年生からは文学、言語学、政治経済などのゼミに所属して専門性を高めます。高校までとは違い、大学では学びにおける主体性が求められます。私は周りの優秀な仲間に刺激を受け、互いに切磋琢磨しながら英語力を伸ばしてきたことがモチベーションに繋がり、今では全く英語を話せなかった自分が懐かしくもあります。

次に、英語を通して多様な考え方に触れることで幅広い視点を持てるようになること。英語専攻といえど何も英語に関することだけを学ぶわけではありません。ディスカッションなどの授業や様々なバックグラウンドを持った留学生との交流を通して、今まで知らなかった世界が見えてきます。自分の中の世界がどんどん広がっていく、これが一番の魅力だと思います。

グローバル化がますます進み、日本でも英語の必要性は高まっています。英語という言語を通して自分の世界を広げてみませんか。そうすれば、みなさんの見ている世界が幾重にも変わるはずです。

留学体験記　4年　田上 桃実

私の留学したウェズリアンカレッジは、ジョージア州というアメリカ東南部地域の田舎にある小さな大学でした。先生や他生徒との距離が近い分、積極的な授業への参加が求められ、常に緊張感と刺激の多い雰囲気の中で勉強することができました。現地では主にコミュニケーション学を専攻しました。授業の中で特に印象に残っているのは、Public Speaking。やはり演説といえばアメリカ。先生の熱心な指導や、他生徒の熱い演説に刺激を受けました。いかに影響力のある言葉を届けアピールするかを実践を通じて学びましたが、そのときに得た経験や自信は、その後の就職活動にも活かすことができましたし、社会に出ても通用すると確信しています。

課外活動では学校のクラブ活動に参加したり、地元の語学学校で日本語を教えたりと、様々な経験を通じて多様性溢れる環境でのあり方を学びました。日本での当たり前が通用せず苦労の方が多かったですが、日本人として世界中の人と関わりながら何かを作り上げていくことの楽しさを身をもって体験することができました。

留学とはこれまで培った英語力や知識を使う集大成であるだけでなく、周りの人との関わりを通じて、日本人として世界で活躍する人材となるための第一歩です。語学力の向上だけにとどまることなく、積極的に自分の知見を広げ、多様性溢れる仲間との関わりを学ぶことで、より充実した留学生活が期待できるのではないでしょうか。

フランス語専攻

BONJOUR!（ボンジュール）

フランス語専攻では、フランス語やフランス語圏の文化（文学、思想、歴史、政治、経済、芸術など）に関心があり、その正しい知識と理解を深めたいと思っている学生を求めています。

ロワール渓谷のシュノンソー城

フランス語は、中世の時代より現在に至るまで、芸術や思想を生み出す支えの言語として、ヨーロッパ文明において重要な役割を担ってきました。フランス文学は中世の「ロランの歌」などに代表される叙事詩や吟遊詩人達による叙情詩から、スタンダール、フローベール、ユーゴー、プルーストなどの近代、現代の小説に至るまで、世界でも他に類を見ない多様で豊かな創造的世界を生み出してきました。哲学者のデカルトやパスカル、ルソー、サルトルといった名前も皆さんにはおなじみのことと思います。フランス語を使って生み出された文学作品や哲学書は膨大な数にのぼります。

またフランス語は、フランス本国以外にも、ベルギー、スイス、カナダといった欧米諸国、あるいはカメルーン、コートジボアール、コンゴなど、かつてフランス領やベルギー領であったアフリカ諸国の一部でも公用語のひとつとして使われており、およそ１億の人たちがフランス語を話していると言われています。そして国連をはじめ、EU やユネスコなどの国際機関においても公用語のひとつとなっています。あまりに英語偏重の今の日本ですが、世界中を飛び交う情報の中で、英語で流される情報はその一部でしかありません。複数の外国語を学んでおくことは、視野を拡げ、他者をよりよく理解し、今のこの世界における様々な事柄に関してより的確な判断を下すためにも、これからの私達にはぜひとも必要な作業なのではないでしょうか。

私達はフランス語とフランス語が培ってきた芸術や文化の魅力とその有用性を伝えるべく、中世の時代から現代に至る文学、歴史、文化、言語学などできる限り多種多様な分野の授業を用意して、皆さん方の期待に応えたいと考えています。

セーヌ河岸のルーブル宮

学生の声　3年　大石 虎丸

外国語学部を志望する皆さん、Bonjour! フランス語専攻の大石です。今日は皆さんにフランス語学習の魅力についてご紹介させて頂きます。まず、フランスと聞いて何を連想されますか？最先端のアートやファッション、スイーツの名店、エッフェル塔に夜のセーヌ川なんてのも素敵ですね。伝統と革新を兼ね備えたフランスでは、他にも文学や思想、映画に舞台芸術等、華やかかつ深みのある文化が日々生まれ続けています。”言語を学ぶことはその国の文化を知ること”ですから、きっと皆さんもフランス語を学ぶ過程で、そうしたフランス文化への知見を深めることが出来るでしょう。

しかしフランス語学習の魅力の本質は、多角的な視野と重層的価値観を獲得出来る点に存在しています。つまりフランスの言語や豊かな文化を通して、現実社会で起きる様々な物事を、より深く・幅広く見つめることが出来るようになるということです。例えば皆さんが一生懸命勉強されている英語も、日本語／英語という二元的な見方から離れ、フランス語のフィルターから相対的に眺めることで、かなり違った風に見えてきます。世界中で流行しているアメリカの映画や音楽だって、フランスの作品と比較することでまた新たな魅力を見出すことが出来ます。

この視野と価値観こそ、フランス語学習がくれる最大のプレゼントであり、旅行や仕事に留まらず、様々な面で皆さんの人生にさらなる彩りを与えてくれるはずです。皆さんとこの感動と喜びを分かち合える日を心待ちにしています！

留学体験記　4年　石井 沙英

私は約１年間、南仏のエクス＝マルセイユ大学に交換留学していました。

留学での目標は、個人学習はもちろんのこと、現地の人との交流を積極的に行い、フランスらしさを吸収することでした。

大学では、留学生向けの語学授業に加え、現地の学生とともに芸術学部の授業を履修しました。現地学生と同じレベルの授業についていくのは難しかったですが、友人に助けてもらい、自分なりの勉強方法を見つけながら、毎日楽しく勉強に励んでいました。

課外活動もいくつか行っていました。まず、私は元々バイオリンができたので、地方のアマチュアオーケストラに参加しました。音楽で様々な国の人と繋がることが出来たのは非常に良い経験でした。また、日本領事館主催の秋祭りで、来場者に日本文化を伝えるボランティアをしたり、地元の学童で日本語を教えるレクチャーを行ったりもしました。

気がついたことは、フランスにはフランス以外の民族や人種の人が多数存在するということです。アジア系、アラブ系、アフリカ系など、多様な背景を持つ人と、フランス語を通じて様々な文化を知ることができました。私自身も、稀にフランス人と勘違いされることがあり驚きましたが、別の人種の人に対し、外観だけで日本語がわからないと思ってしまう日本人の癖に気付くことができた体験でした。

精力的な交流により、充実した留学生活を送ることができ、フランス語の上達だけでなく、フランスらしさを知ることに成功しました。

イタリア語専攻

Buongiorno（ブォンジョルノ）

イタリア語専攻では、多様性と伝統を大切にするイタリアの言語、文学、歴史、社会、文化等に強い関心を持ち、イタリア語の高度な運用能力を身につけて、日本とイタリア両国の相互理解に貢献しようという意欲のある学生を求めています。

イタリア人で知っている名前を挙げてみてと言われたら、みなさん、どう答えるでしょうか。サッカー選手のトッティ、映画俳優／監督のロベルト・ベニーニ、靴のサルヴァトーレ・フェラガモなどの名前が挙がるでしょうか。ちょっと詳しい人なら、ダンテやラファエロ、ガリバルディ、マリア・カラス、あるいはベルルスコーニといった名前も挙がるかもしれませんね。

イタリアは、芸術、文学、音楽、ファッション、サッカー、映画など、様々な分野で個性的な才能を輩出してきた地域です。イタリア語を学ぶということは、このような多様な文化領域にアプローチするうえで非常に有効です。例えば、ミケランジェロの彫刻に興味があるという場合、ミケランジェロが書き残した手紙などを自分で読むことができたら、作品を理解するうえで大きな手がかりとなりますよね。また、劇や映画に関心があるという場合、台本・脚本を自分で読んで、役者の台詞の話し方やそのニュアンスまで理解することができれば、作品を見るうえで大いに役立つでしょう。

ただ、どんな言語にもいえることですが、一つの外国語を修得することは決して容易な話ではありません。イタリア語の場合、発音は非常に分かりやすいのですが、文法には少々厄介なところがあります。例えばイタリア語の名詞には、必ず男女の性別があります、treno（列車）は男性名詞、piazza（広場）は女性名詞といった具合に。面白いでしょ?

1・2 年次には、そのような点を含めてイタリア語の基礎をしっかり身に付けることになります。3・4 年次には、習得したイタリア語を駆使して、様々な専門分野の授業に参加することになります。大学の授業は決して簡単ではありませんが、幸いなことに、語学の習得は、努力すれば必ずそれだけの報いがあります。みなさんと一緒に学ぶのを、私たちも楽しみにしています。

中部イタリア、世界遺産の街ピエンツァ

学生の声　2年　堤 怜央

皆さんこんにちは！皆さんはイタリアと聞いて何を思い浮かべますか？世界遺産、食べ物、ファッション、芸術、サッカーなど様々あると思います。イタリア語専攻の学生たちは、言語はもちろんイタリアにまつわる様々なものに興味を持ってこの言語を専攻しています。イタリア語専攻の学生たちは向上心が高く、自身の興味のある分野に知見を広げています。僕は言語に興味があるのですが、2年生から新たに3言語を学び始めました。他の言語を学ぶことで自身の専攻語の理解を深めることもできます。これも外国語学部の強みだと思います。

当専攻では1、2年生でイタリア語の基本的な文法や会話を学びます。発音はそこまで難しくはないですし、単語は英語に似ているものが多いのでそこまで心配する必要はありません。3、4年生ではゼミに入り、言語、歴史、文学、美術など専門的な授業を受ける事ができます。個性あふれる先生方も当専攻の魅力の一つで、そんな先生方との距離が近いので、気軽になんでも質問や相談をする事ができます。

他にも夏祭り、語劇祭、夏の短期研修などの様々なイベントがあります。夏祭りではイタリアに関わるものとして、パスタの売店を出しました。語劇祭ではイタリア語のみでの劇を発表しますが、なんと1年生から参加する人が多いです。また夏の短期研修では毎年1ヶ月ほどイタリアの大学でイタリア語を学ぶことができます。

皆さんと会えるのを楽しみにしています！

留学体験記　4年　東上 梨彩子

私は 10 月から 8 カ月、ローマにある語学学校に通っていました。ローマ帝国時代の大文明から、戦後は映画史に残る傑作を生みだしたこの都市では、少し歩けば遺跡や映画のロケ地に出会えます。また、イタリアのちょうど真ん中にあり、電車や飛行機の便も豊富で、旅行に行くのにも便利です。

私の留学体験ですが、留学前は勉強に力を入れていなかったせいで、来てすぐは会話すらままなりませんでした。しかし、「ボーっとしていたら 8 カ月なんてすぐに終わってしまう！」と思い、SNS や現地の大学でイタリア人の友達を作り、イタリア人シェアメイトがいるアパートに引っ越してからは、彼らが共有スペースで遊んでいるときは毎回顔を出すようにしました。イタリア語が未熟な上、出会って間もない私でも一度食事や遊びに参加すると、彼らはそれから何度も誘ってくれました。おかげで、冗談を言い、時には意見をぶつけ合うかけがえのない仲間ができました。また、自分の意見をしっかり主張できるようになったこと、コロナウイルスによるロックダウン中、私を支えてくれる人たちのありがたさを感じられたことは、自分自身の内面も成長させてくれたと思います。

イタリア人は人好き、おしゃべり好きなので、自分から行動すれば、友達に囲まれた充実の留学生活を送れます。また、日本の家族や友達と離れて文化の違う人たちと過ごすという体験は、語学以外にも様々な面で自分を成長させてくれると思います。

スペイン語専攻

Buenos días (午前中から昼食までの挨拶) (ブエノス ディアス)

Buenas tardes (昼食後から暮時までの挨拶) (ブエナス タルデス)

スペイン語専攻では、スペイン語を意欲的に習得し、学んだスペイン語を活用してスペイン語言語学、スペイン文学やスペイン史はもとより、スペイン語圏の政治や経済、文化一般に関する知識を積極的に身につけ、スペインおよびスペイン語世界について総合的に理解したいと思っている学生を求めています。

トレド全景

スペイン語は、スペインのみならず、アメリカ合衆国の一部およびメキシコから南米のチリ、アルゼンチンに至るまでの実に広大な空間（ブラジルを除く）で、3億人以上の人々によって話されている言語です。スペイン語の重要性は、国連の公用語の一つとされていることからも明白です。話される地域が広く、話す人の数も多いという事実は、今日の国際社会において、私たち日本人がスペイン語と接する機会がますます多くなることを意味します。スペインおよびスペイン語世界は、様々な意味で大いなる可能性を秘めた魅力溢れる世界であり、「スペイン語はそれを知る人の未来を開く」と言っても過言ではありません。

もちろん、スペイン語を知っているだけでは十分ではありません。スペインおよびスペイン語世界の文化一般に関する知識を総合的に身につけていることが肝要です。しかし、それは並大抵の努力でできるものではありません。あくまでも努力目標であり、それに近づくために、まずは個々の分野の様々な知識を正確かつ着実に身につけていくことから始めなければなりません。スペイン語専攻の授業も、限られたスタッフと時間のなかで、そのために組まれています。皆さんに課せられた使命は、1、2年次において、スペイン語を正確に「読む、書く、聞く、話す」能力を身につけ、それを駆使しさらに磨きつつ、3、4年次において、スペイン語学やスペイン文学、スペイン史、イスパノアメリカ文学などの専門的な多くの知識を学び、それを土台に各人が自己の価値観をとおして独自のスペイン観もしくはスペイン語世界観を構築することです。

スペインおよびスペイン語世界を総合的に理解するには、少し控えめに言って、その文化一般を知るには、スペイン語の習得が不可欠であり、逆に、文化を知らなければ真の意味でのスペイン語の習得もあり得ないということを肝に銘じて下さい。そして、スペイン語世界のことなら何でも知ってやろうという貪欲な気持ちで、4年間の勉学に励んでもらいたいと思います。皆さんには、可能性と魅力溢れるスペイン語世界が開かれています。

アルハンブラ宮殿ライオンの中庭（グラナダ）

聖家族教会（バルセロナ）

学生の声　4年　平川 みなみ

スペインは私たち日本人にとって馴染み深い国です。例えば、スペインのサッカーリーグは日本でも人気があります。ZARAやチュッパチャップスもスペイン生まれです。実はスペイン語に関しても、発音がほぼローマ字読みだったり、語順が英語ほど厳格でなかったりと、意外にも日本語と似た部分があります。

スペイン語専攻では、1、2年生でスペイン語の基礎を習得し、2-4年生でスペイン語圏の言語学、文学や歴史学といった様々な分野の基本的な知識を身につけます。3年生からはゼミに所属し、自分の興味のある分野を研究します。私がスペイン語を学んできて最も魅力を感じたのは、言葉、文化の多様性です。スペイン語はアメリカ、中南米の多くの国や地域でも話されており、同じ言語ではあるものの、地域によって言葉の使い方や意味が異なる場合があります。また多様性はスペイン国内でも見られ、カタルーニャ語など様々な言語が共存していたり、イスラムの影響が強く残る地域があったりします。私はスペイン留学中、行く先々でスペインの新たな側面を発見し、その度にスペインが好きになっていきました。

最後に、言語学習は決して楽ではありません。日々予習に追われ、学年が上がると学習内容も難しくなります。しかし、時間をかけ努力をし、困難を乗り越えた時にこそ、新たな学びがあります。私はその瞬間の虜になってしまいました。皆さんもスペイン語専攻で充実した大学生活を送りませんか。

留学体験記　4年　由井 明日香

私は一年間メキシコ国立自治大学に留学し、スペイン語力を磨きながらメキシコの政治や社会問題について学びました。現地の大学に通う中で、沢山の苦労を経験しましたが、この一年を通して成長することができました。

メキシコ人のオープンな性格のおかげで、すぐに友達ができたものの、最初は彼らと上手くコミュニケーションをとることができませんでした。そのうえ授業のレベルが高く、グループワークでは沢山迷惑を掛けました。しかし、毎日メキシコ人たちと過ごしながら勉強を積み重ねた結果、授業の理解度が向上し、積極的にグループワークに参加できるようになりました。言語や文化が異なる人達とともに難しい課題を乗り越え、信頼関係を築けたことは大きな自信になりました。

また、大学でメキシコの社会問題を学んだだけでなく、メキシコ人たちと日々話す中で、それに対する彼らの考えをも知ることができました。語学力は、現地の人々の価値観や文化を深く理解するための武器であると、身をもって感じました。

語学を身に着けて満足するのではなく、語学を活かして何がしたいのか、何を知りたいのかを考える重要性を、留学を通して再確認しました。そして、スペイン語はスペインやラテンアメリカ諸国など、多様な地域で話されているため、スペイン語を駆使して学べることが沢山あるのは大きな魅力である、と私は思います。

ポルトガル語専攻

Olá, como estás? （ポルトガル）（オラー, コモ・エシュタシュ）
Oi, tudo bem? （ブラジル）（オイ, トゥード・ベィン）

ポルトガル専攻では、ポルトガル語の高度な運用能力を身につけたいという熱意のある人、ポルトガルやブラジルの言語や文化に強い関心をもち、習得したポルトガル語を駆使してその多様性を主体的に探求しようという意欲のある学生を求めています。

ブラジルのリオデジャネイロ市の景観　中央の岩山が「パン・デ・アスカル」

ポルトガルはユーラシア大陸の最西端に位置し、12 世紀にイスラム教徒からの「国土回復運動」の過程で独立国としての第一歩を踏み出しました。その後、ポルトガルが「大航海時代」の先駆者として、アフリカ、アジア、アメリカ大陸へと進出した歴史はよく知られています。その結果、ポルトガル語は現在、ポルトガルだけにとどまらず、南アメリカのブラジル、あるいはアフリカの旧ポルトガル植民地 5 カ国（アンゴラ、モザンビーク、ギニアビサウ、カーボベルデ、サントメ・プリンシペ）、また 21 世紀になって独立した東ティモールなどでも使われており、その話者は２億人を超えています。

本学でポルトガル語を専攻する学生は、1･2 年次には、外国人教師による会話の授業を含め、ポルトガル語を総合的に学習し基礎力を身につけます。その後、ポルトガル語圏の言語や文学、文化を勉強することになります。ポルトガルやブラジルというと、サッカーや音楽、格闘技などを思い浮かべる人が多いのですが、それらにとどまらず、各地域の歴史や文学、文化に幅広い関心をもってほしいと思います。また、各自が選択したテーマにしたがい自ら研究を深め、卒業論文を執筆するのも3･4 年次の重要な活動になります。

多彩な地域で、数多くの人々によって話されるポルトガル語を勉強することは、視野を広げ、世界の多様な文化を理解し、いろいろな国の人々とコミュニケーションを行ううえで、大きな力になります。皆さんもそのようなポルトガル語を身につけて海外へと大きく飛躍してくれることを期待しています。

「大航海時代」の栄華をいまに伝えるリスボンのジェロニモス修道院（16世紀）

学生の声　4年　川村 憂樹

Olá! Como vais? こんにちは！ようこそ、ポルトガル語専攻へ！

皆さんは、ポルトガル語と聞くと何を想像しますか？

ポルトガル語は、ポルトガルやブラジルを含め、計９か国の公用語です。それ故に、話者の数が多く、2億人以上のポルトガル語話者がいます。

そんなポルトガル語を学ぶ当専攻の魅力を、これから３つ紹介します。

まず１つ目は、カリキュラムです。ポルトガル語専攻では、1 年生から、週５回ポルトガル語の授業があり、「読む・聞く・書く・話す」をバランスよく伸ばしていきます。2 年生では、こういった授業に加えて、ブラジルやポルトガルに関することを学びます。そして、3 年生ではブラジルやポルトガルに留学をしたり、自身の興味に合わせてさらにポルトガル語圏のことを学んだりします。4 年生では、卒業論文の作成に取り組みます。皆さんは、この４年間を通じて、きっとポルトガル語を運用できるようになります。

２つ目は、先生方です。当専攻の先生方はネイティブ教員を含め、気さくで、生徒の悩みに親身に寄り添って一緒に解決策を考えてくれる先生方が多いです。

最後は、同級生や先輩たちです。当専攻には性格として接しやすい人たちが集まりやすく、とても馴染みやすい雰囲気になっています。また、学生間の繋がりが強く、7 月にある夏祭りや 11 月の語劇祭ではみんなが協力して作品の製作に取り組んでいます。

この３つに魅力を感じた方は、ぜひポルトガル語専攻へ！

Vamos estudar conosco.

留学体験記　4年　鳥越 絵理

私は約８ヶ月間、ポルトガルのリスボンに留学していました。この留学は私にとって初めての海外渡航であり、初めは期待感よりも不安感の方がありました。しかしポルトガル人の親切な国民性に何度も助けられて、楽しく有意義な留学を経験することができました。

留学は、留学先の言語や文化、歴史を学ぶことはもちろん、日本のことを学ぶ絶好の機会だと思います。私の留学先には多国籍のクラスメイトが在籍していました。彼らとコミュニケーションを取る中で、彼らが日本について興味を持つ点、疑問に思う点は、私が考えてもみなかったことばかりでした。日本のことなのに日本人である私が上手く説明出来ず、悔しい思いをしました。それでも、1 人でも多くのクラスメイトに日本に興味を持って欲しいという思いから、ポルトガル語を勉強するのと並行して、日本の文化や歴史なども勉強しました。そして、クラスメイトから「日本に興味を持った！日本語を勉強し始めたよ！」と報告された時はとてもやりがいを感じました。

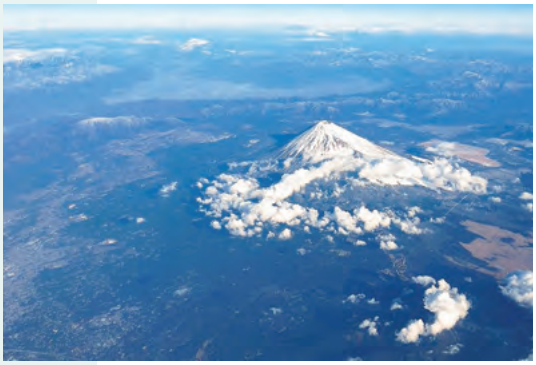
海外の文化を体感したい。日本の当たり前が通用しない国で、海外の当たり前を学びたい。そんな漠然とした海外への憧れで、外国語学部に入り、留学を決意しました。留学は語学以上に、自分次第で何でも習得することができます。あなたも、ポルトガル留学を通して、自分にしか学べないことを学びに行きませんか？

日本語専攻

こんにちは

日本語専攻では次のことに取り組む意欲のある学生を求めています。

- 外国語を身につけ、外国の事情を知る。
- 日本語・日本文化を客観的に捉える。
- 日本語教育を多角的に学ぶ。
- 外国語を基盤にグローバルな観点から日本を世界に発信する。



日本語を母語として日常的に使っているみなさんの中には、「外国語学部で日本語を学ぶとはどういうことなのか?」という疑問を抱く人も少なからずいるのではないでしょうか。しかし、ふだん何気なく使っている日本語の中にも、よく考えてみると不思議なナゾがたくさんあります。例えば日本語を学んでいる外国人から、「『バス停に止まる』と『バス停で止まる』の違いは何か」とか、「どうして感謝する時に『すみません』と言うのか」などと聞かれたら、どのように答えればいいでしょうか。

このような問いに答えるには、母語である日本語を外から見つめ直し、他の言語と比べながら考える必要があります。日本語専攻では、日本語学・言語学・日本語教育学・日本文化学の領域にわたって、日本語を外国語のように観察して客観的に見る目を養い、幅広い視野から日本語・日本文化を捉えることのできる人材の育成を目指しています。日本語専攻の学生はそれぞれ、24の言語のうち一つを専攻言語として学ぶことになっています*。外国語を学んだ上で日本語を深く探求できるのは、外国語学部の日本語専攻だからこそできる最大のメリットです。また、日本語専攻には毎年約10名の留学生が入学して、日本人学生と共に学んでいるので、教室の中でも日常的に多言語・多文化環境が実現されています。さらに、日本語教育に関心のある人には、教育実習の目的を兼ねた海外派遣や交換留学の機会も設けられています。

外国語を身につけて日本を世界に向けて発信したい・日本と世界との交流を通じて社会に貢献したい・外国語の言語能力を活かして日本語教育の現場で活躍したいなど、グローバルな視点に立って日本語と関わりたいと願うみなさんにぜひ来ていただきたいと思います。

*日本語専攻の学生の専攻言語について:外国人留学生は日本語。日本人学生は外国語学部に専攻のある、日本語以外の24言語の中から1つを選択し、その言語を専攻する学生とともに学ぶ。

学生の声　4年　シャオ シャン

皆さんこんにちは。シンガポールからきた留学生のシャオです。

私にとって、日本語専攻はまさに小さなグローバルコミュニティーです。ここだといつも「ええー、そうなんだ！」という新しいことを知る瞬間が多く、自分の国、もしくは日本と比較することでまた新しいことを学び、日本語専攻ならではの経験ができるプラットフォームです。日本語専攻で何を学べるかというと、日本語学、音声学、日本の伝統祭り、日本語教育学など内容豊富な授業が挙げられます。留学生だけではなく、日本人の皆さんにとっても知らないことをたくさん学べます 。日本語教師を目指している人はもちろん、将来日本語で世界とつながる仕事につきたい人におすすめです。

在日外国人の数は年々増えていますが、日常生活では外国人の方と交流する機会はまだ少ないと言えるでしょう。日本語専攻では常に留学生のクラスメートやネイティブの先生と接触することができ、海外に実習や見学に行く機会も提供してくれます 。新型コロナウイルスの影響で世界がしばらく止まったようですが、これからもグローバル化を推進していく環境で活躍するために必要なスキル—英語以外の外国語能力、異文化コミュニケーション力、批判的な思考力など—を大学で学ぶ4年間のうちに日本語専攻で身につけていきましょう！

留学体験記　4年　粟田 志保里

日本語専攻はどんな留学をするんだろう？と思う方も多いのではないでしょうか。1、2年生で学んだ言語を深く学ぶための留学に行く人もいますが、「海外に日本語を教えに行く」という留学をした人もたくさんいるのが日本語専攻の特徴です。私も、3ヶ月インドネシアの大学に日本語を教えに行きました。

私は1、2年生のときにインドネシア語を専攻していたので、インドネシアに行くことにしました。しかし、はじめの内は、日常生活では思っていたより上手く話せない上に、学校では突然「先生」として大勢の学生の前に立ち、日本語を教えるという生活を送り、試行錯誤ばかりでした。授業はほぼ日本語で行い、時折インドネシア語を交えて教えましたが、知識が足りず説明ができなかったり、わかりやすく説明できなかったりと、落ち込むこともありました。しかし、積極的に授業に取り組む学生の姿や、学んだ日本語を使って話しかけてくれる姿を見ていると、「もっと工夫して良い授業にしたい！もっと役に立ちたい！」と感じて、また頑張ろうと思えました。初めて一人で異国に飛び、そこで「先生」として教えるという経験を通じて、以前よりも自分に自信を持てるようになりました。今までは上手くできるか不安で挑戦できなかったことにも「物怖じせずにとりあえずチャレンジしてみよう！」と思えるようになりました。

アドミッション・ポリシー

外国語学部は、世界諸地域の言語、文化、社会に対する強い関心を持つ、
次のような学生を募集します。

外国語学部・外国語学科

- さまざまな文化背景を持つ人とコミュニケーションする能力を身につけたい人
- 世界諸地域の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人
- 言語を十二分に駆使して、世界諸地域の文化や社会の研究をしたい人
- 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋となりたい人
- 世界的規模の諸問題を解決するため、国際的な活動や協力を推進したい人

言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ

世界25言語の専攻

外国語学部外国語学科は、25に及ぶ世界の諸言語の専攻語教育課程を設け、世界の言語と言語を基底とする地域文化の教育研究の集積拠点として、幅広く、そして深く世界・文化・地域を学ぶことができます。

入学定員

外国語学部	580名
3年次編入学	10名

授与学位　学士（言語・文化）

学部	学科	専攻
外国語学部	外国語学科	中国語専攻 朝鮮語専攻 モンゴル語専攻 インドネシア語専攻 フィリピン語専攻 タイ語専攻 ベトナム語専攻 ビルマ語専攻 ヒンディー語専攻 ウルドゥー語専攻 アラビア語専攻 ペルシア語専攻 トルコ語専攻 スワヒリ語専攻 ロシア語専攻 ハンガリー語専攻 デンマーク語専攻 スウェーデン語専攻 ドイツ語専攻 英語専攻 フランス語専攻 イタリア語専攻 スペイン語専攻 ポルトガル語専攻 日本語専攻

外国語学部のカリキュラム

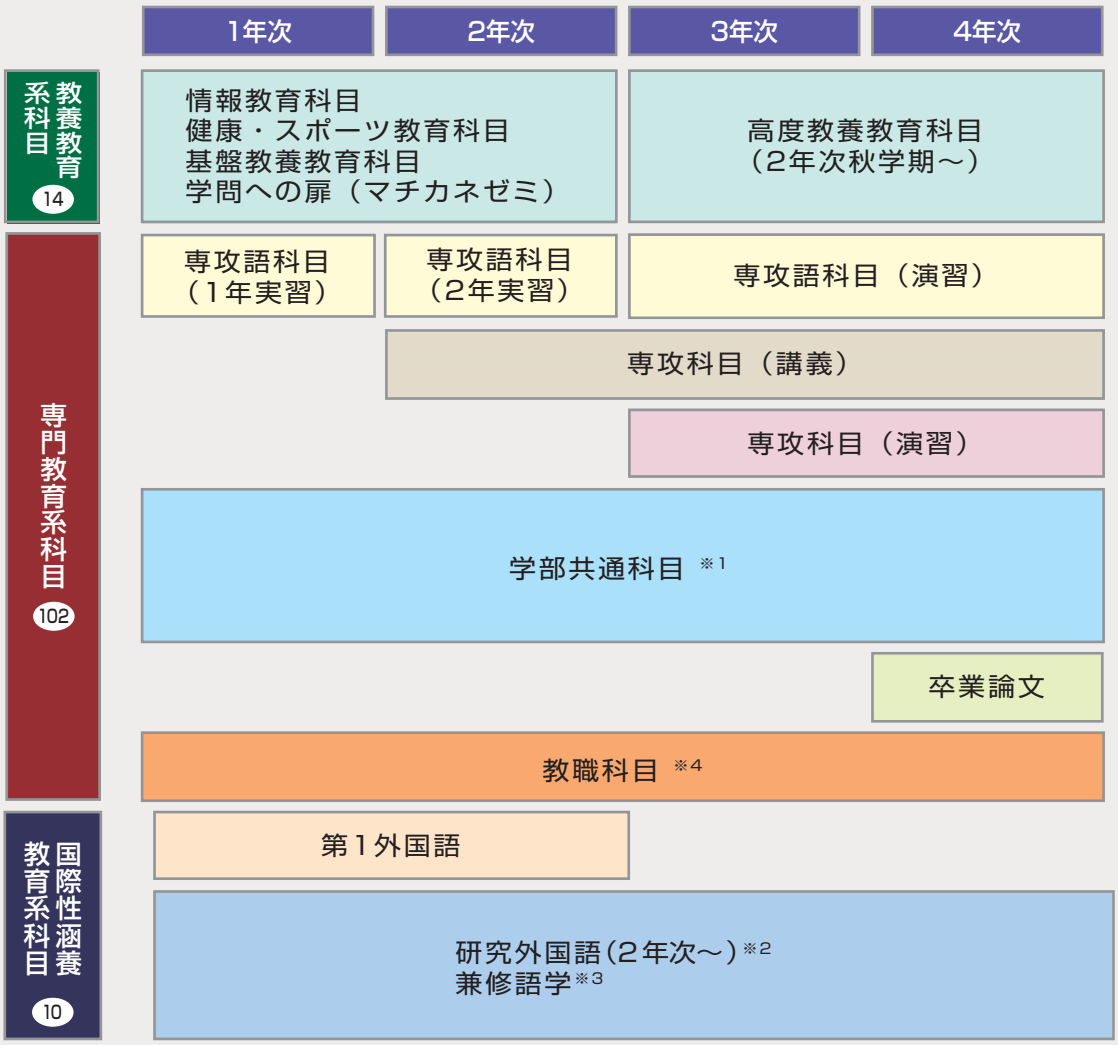
◆カリキュラムの体系は、
大きく【教養教育系科目】【国際性涵養教育系科目】【専門教育系科目】に区分されます。

外国語学部では、教養教育系科目として、「学問への扉(マチカネゼミ)」、「基盤教養教育科目」、「高度教養教育科目」、「情報教育科目」、「健康・スポーツ教育科目」を合わせて14単位以上、国際性涵養教育系科目として、「第1外国語」、「兼修語学」等を合わせて10単位以上修得することとなっています。

専門教育系科目には、「専攻語科目」「専攻科目」、「学部共通科目」「卒業論文」等が配置され、102 単位以上を修得することとなっています。専門教育科目の根幹である「専攻語科目」は、1・2 年次で履修する実習の科目と3・4 年次で履修する演習の科目から構成されます。

なお、1年次に配当される授業は、原則として、豊中キャンパスで実施され、2年次以降に配当される授業は、箕面キャンパスで実施されます。

◆カリキュラムのあらまし



※1　学部共通科目には、方法論科目、地域系科目、特設科目があります。
　　方法論科目･･･言語学概論、文化概論、文学概論、芸術史、文化史、国際関係史など
　　地域系科目･･･他専攻の学生も履修が認められている、各専攻の専攻科目(講義)(演習)
　　特 設 科 目･･･現代ジャーナリズム論、異文化理解演習、多言語共生社会演習など
※2　アイヌ語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、バスク語、台湾語など
※3　中国語、朝鮮語、アラビア語、スワヒリ語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語
※4　卒業に必要な単位には算入されません。

就職状況

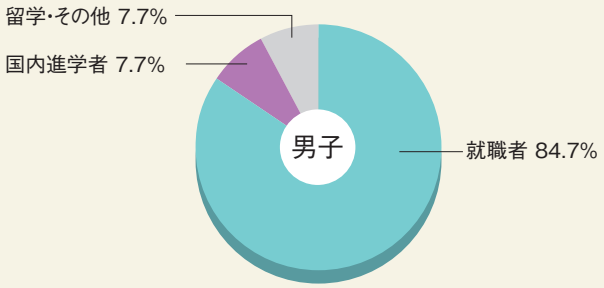
外国語学部を卒業すると

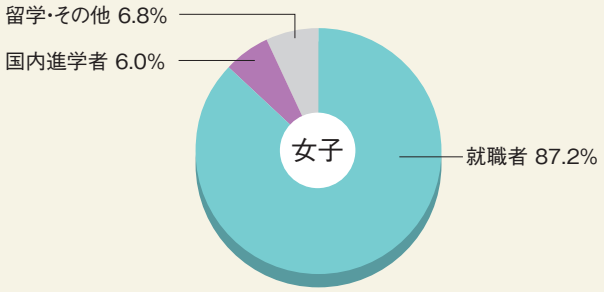
外国語学部の卒業生は、在学時代に培った語学力とそれに基づいた豊富な知識を糧に、社会の様々な分野で活躍しています。大阪外国語大学時代より脈々と受け継がれたOB・OGとの繋がりも卒業生が増すごとに、より強固なものになっています。

外国語学部卒業生のうち、約87%が就職し、残る約13%が国内の大学院への進学や海外の大学又は大学院へ留学をしています。大阪大学の他の学部と比べても就職希望者の多い学部と言えます。多くの外国語学部生が在学中に経験する短期・長期の留学は、彼／彼女らにとっては社会（世界）へはばたく助走なのかもしれません。

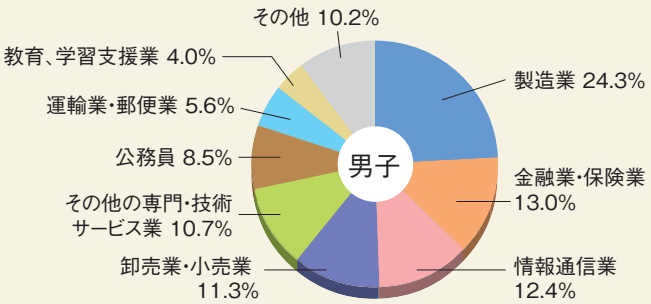
以下のように卒業生の就職先は多業種にわたっています。入学してから自己を見つめなおし、4年間をかけて自分に合った進路を模索していく姿勢を見につけ、理想の就職ができるよう、外国語学部も全力でサポートします。

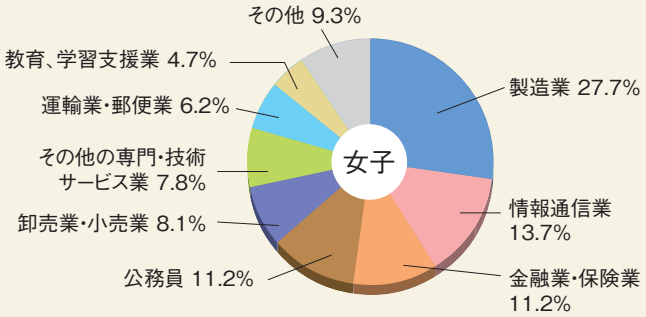
進路・就職状況（2019年度卒業生）





業種別　就職者数（2019年度卒業生）





外国語学部卒業生の主な就職先
（2019年度卒業生）

製造業

サントリーホールディングス（株）
パナソニック(株)
江崎グリコ(株)
山崎製パン(株)
味の素(株)
(株)新興出版社啓林館
AGC(株)
タカラベルモント(株)
ローム(株)
旭化成(株)
宇部興産(株)
(株)コーセー
(株)ブリヂストン
三井化学(株)
資生堂ジャパン(株)
住友化学(株)
出光興産(株)
大日本塗料(株)
中外製薬(株)
富士フイルム(株)
(株)神戸製鋼所
山陽特殊製鋼(株)
住友電気工業(株)
オムロンヘルスケア(株)
タイガー魔法瓶(株)
ダイキン工業(株)
(株)クボタ
川崎重工業(株)
日立造船(株)
Korg
TDK(株)
マクセル(株)
京セラ(株)
富士通(株)
(株)日立製作所
三菱電機(株)
いすゞ自動車(株)
スズキ(株)
ダイハツ工業(株)
トヨタ自動車(株)
ブリヂストンタイヤジャパン(株)
マツダ(株)
ヤマハ発動機(株)
(株)豊田自動織機
本田技研工業(株)
TOTO(株)
YKK(株)
ヨネックス(株)
ローランド(株)
(株)イトーキ
(株)セガゲームス
日本製紙(株)

卸売業・小売業

伊藤忠商事(株)
(株)ニトリ
(株)ファーストリテイリング
丸紅(株)
三菱商事(株)
住友商事(株)
双日(株)
イオンリテール（株）
タリーズコーヒージャパン(株)
(株)紀伊國屋書店
(株)高島屋
(株)西松屋チェーン
(株)良品計画
生活協同組合コープこうべ

情報通信業

NECソリューションイノベータ(株)
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)
スミセイ情報システム(株)
一般社団法人共同通信社
楽天(株)
(株)NTTデータ
(株)時事通信社
(株)朝日新聞社
(株)毎日放送
朝日放送テレビ(株)
日本放送協会

金融業・保険業

イオンフィナンシャルサービス(株)
(株)ジェーシービー
(株)みずほフィナンシャルグループ
(株)りそなホールディングス
(株)三井住友銀行
(株)三菱UFJ銀行
アフラック生命保険(株)
三井住友海上火災保険(株)
住友生命保険相互会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス(株)
東京海上日動火災保険(株)
日本生命保険相互会社
明治安田生命保険相互会社

その他の専門・技術サービス業

アクセンチュア(株)
エン・ジャパン(株)
(株)リクルート
(株)博報堂
アパグループ(株)
(株)阪急阪神ホテルズ
(株)星野リゾート
(株)H・I・S
(株)JTB
(株)オリエンタルランド
(株)旅工房
合同会社ユー・エス・ジェイ

公務(他に分類されるものは除く)(国家公務)

外務省
国土交通省
文部科学省
法務省
防衛省
各都府県庁
各市役所（政令指定都市含む）
等

大阪大学

交換留学制度

大阪大学外国語学部では、諸外国の100を超える大学との間で交換留学を行っています。この制度で留学すると、本学の授業料を納めておいて留学先の大学で学ぶという形になりますので、留学先の大学で授業料などを払う必要はありません。また、留学先の大学で修得した単位は、本学部の卒業に要する単位に算入することができます。（すべてとは限りません）。なお、奨学金（月額6～10万円：令和元年度実績）の支給を受けることができる場合もあります。

学生交流協定大学

●／大学間　★／部局間　（令和2年6月現在）

【ドイツ】
- ●★ハイデルベルク大学
- ●ミュンヘンルートゥヴィヒ・マクシミリアン大学
- ●ミュンヘン工科大学
- ●アーヘン工科大学
- ●エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学
- ●アウグスブルグ大学
- ●ビーレフェルト大学
- ●ルール・ボーフム大学
- ●ゲッティンゲン大学
- ●ベルリン工科大学
- ●ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン
- ●カールスルーエ工科大学
- ●ダルムシュタット工科大学
- ★フランクフルト応用科学大学

【スウェーデン】
- ●スウェーデン王立工科大学
- ●イェーテボリ大学
- ★ストックホルム大学

【スイス】
- ●スイス連邦工科大学ローザンヌ校
- ●スイス連邦工科大学チューリッヒ校
- ★チューリヒ大学

【デンマーク】
- ●コペンハーゲン大学
- ●南デンマーク大学

【フィンランド】
- ●オーボアカデミー大学
- ●ヘルシンキ大学

【ノルウェー】
- ★ベルゲン大学

【オーストリア】
- ●ウィーン大学

【ハンガリー】
- ●エトヴェシュ・ロラーンド大学
- ★カーロリ・ガーシュパール カルビン派大学
- ★セゲド大学

【オランダ】
- ●デルフト工科大学
- ●グローニンゲン大学

【英　国】
- ●リーズ大学
- ●シェフィールド大学
- ●ノッティンガム大学
- ●ダーラム大学
- ★ロンドン大学 東洋アフリカ研究学院

【ウズベキスタン】
- ★サマルカンド国立大学

【ミャンマー】
- ●ヤンゴン大学

【フランス】
- ●グルノーブル大学連合
- ●ストラスブール大学
- ●ピエール・マリー・キュリー大学
- ●ボルドー大学
- ●エックス・マルセイユ大学
- ●パリ国立高等化学学院
- ★トゥールーズ・ジャン・ジョレス大学
- ★リール政治学院

【スペイン】
- ●マドリード自治大学
- ●バリャドリード大学

【エジプト】
- ●アレキサンドリア大学
- ★アスワン大学
- ★カイロ大学

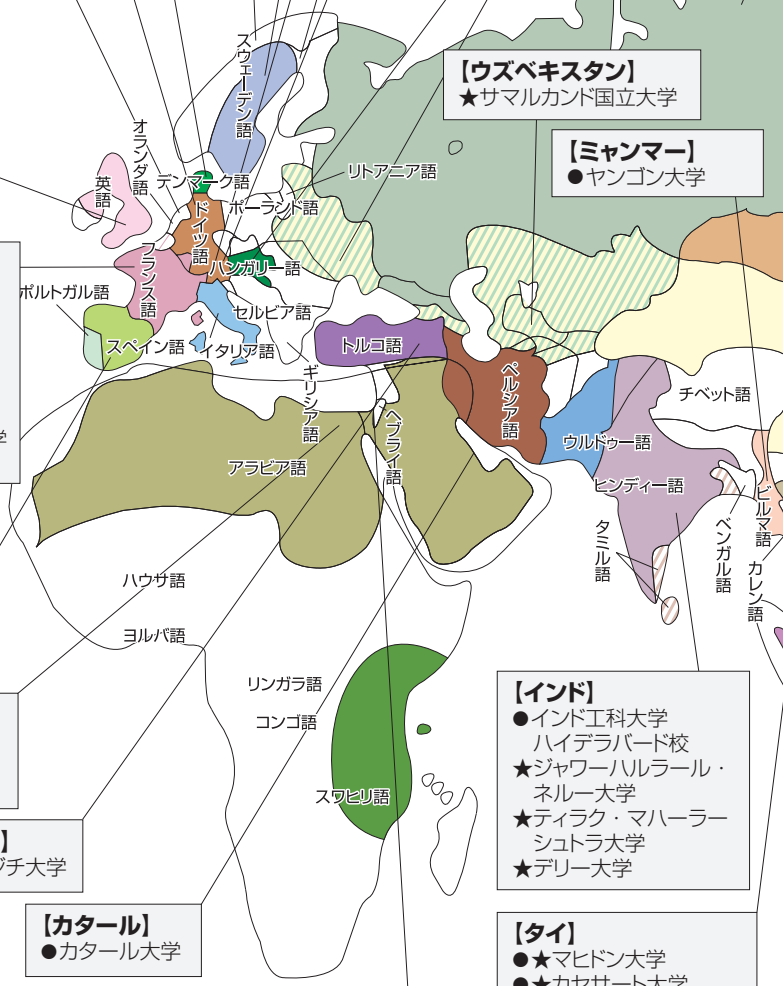
【トルコ】
- ★ボアジチ大学

【カタール】
- ●カタール大学

【イスラエル】
- ●ヘブライ大学

【インド】
- ●インド工科大学ハイデラバード校
- ★ジャワーハルラール・ネルー大学
- ★ティラク・マハーラーシュトラ大学
- ★デリー大学

【タイ】
- ●★マヒドン大学
- ●★カセサート大学
- ●チュラロンコン大学
- ●モンクット王トンブリ工科大学
- ●チェンマイ大学
- ●タマサート大学
- ★コーンケーン大学
- ★シラパコーン大学
- ★ランシット大学



大阪大学外国語学部で学ぶことのできる言語

- 日本語
- 中国語
- 朝鮮語
- モンゴル語
- インドネシア語
- フィリピン語
- タイ語
- ベトナム語
- ビルマ語
- ヒンディー語
- ウルドゥー語
- アラビア語
- ペルシア語
- トルコ語
- スワヒリ語
- ロシア語
- ハンガリー語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語

上記言語のほか、研究外国語として以下の言語を学ぶことができます。

アイヌ語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、バスク語、台湾語　など

海外留学について

交換留学以外には次の方法などがあります。

●外国政府等の奨学金による留学／その他財団等の奨学金留学

毎年、諸外国・地域の政府または政府機関、及び民間団体が奨学金留学生を募集しています。大学に募集通知のあるものについては、その都度掲示します。それ以外の募集については、専攻の教員等に相談してみるとよいでしょう。

●私費による留学

自己負担で希望の大学に留学します。留学先の大学情報等については、自ら十分調査しておくことが必要です。また、専攻の教員、先輩にも相談してみるとよいでしょう。

【ウクライナ】
★タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学

【シンガポール】
●南洋理工大学
●シンガポール国立大学

【ブルネイ】
●スルタン・シェリフ・アリー・イスラミック大学
●ブルネイ・ダルサラーム大学
●ブルネイ工科大学

【ロシア】
●サンクトペテルブルク大学
★ウラル連邦大学
★モスクワ言語大学

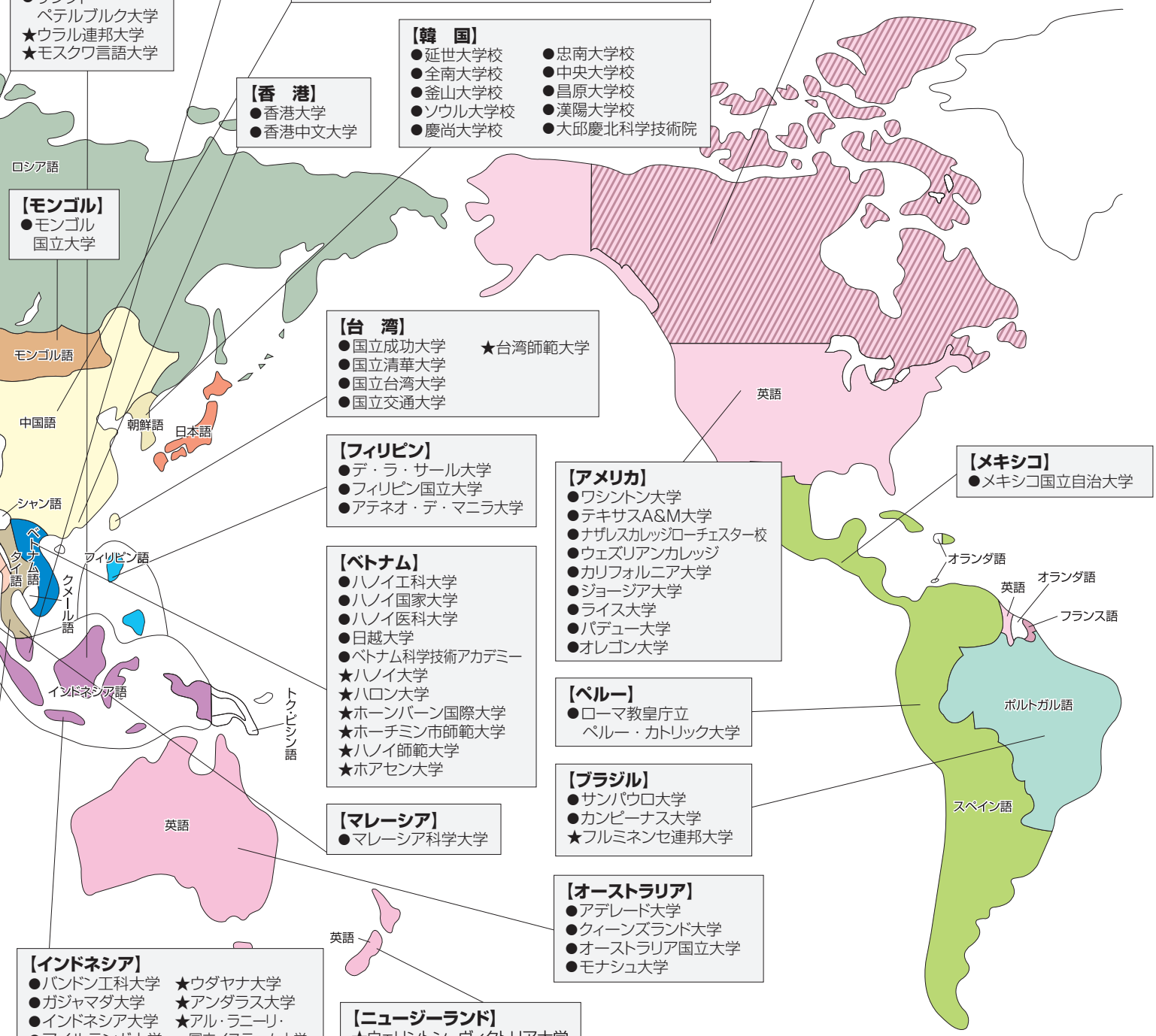
【中　国】
●★大連理工大学
●同済大学
●西安交通大学
●上海交通大学
●武漢大学
●南京大学
●復旦大学
●北京大学
●浙江大学
●清華大学
●北京師範大学
●湖南大学
●深圳大学
●東北大学
★西北大学
★華中師範大学
★上海外国語大学

【カナダ】
●ブリティッシュ・コロンビア大学
●マックマスター大学
●トロント大学

【韓　国】
●延世大学校
●全南大学校
●釜山大学校
●ソウル大学校
●慶尚大学校
●忠南大学校
●中央大学校
●昌原大学校
●漢陽大学校
●大邱慶北科学技術院

【香　港】
●香港大学
●香港中文大学

【モンゴル】
●モンゴル国立大学



【台　湾】
●国立成功大学
●国立清華大学
●国立台湾大学
●国立交通大学
★台湾師範大学

【フィリピン】
●デ・ラ・サール大学
●フィリピン国立大学
●アテネオ・デ・マニラ大学

【ベトナム】
●ハノイ工科大学
●ハノイ国家大学
●ハノイ医科大学
●日越大学
●ベトナム科学技術アカデミー
★ハノイ大学
★ハロン大学
★ホーンバーン国際大学
★ホーチミン市師範大学
★ハノイ師範大学
★ホアセン大学

【マレーシア】
●マレーシア科学大学

【アメリカ】
●ワシントン大学
●テキサスA&M大学
●ナザレスカレッジローチェスター校
●ウェズリアンカレッジ
●カリフォルニア大学
●ジョージア大学
●ライス大学
●パデュー大学
●オレゴン大学

【メキシコ】
●メキシコ国立自治大学

【ペルー】
●ローマ教皇庁立ペルー・カトリック大学

【ブラジル】
●サンパウロ大学
●カンピーナス大学
★フルミネンセ連邦大学

【オーストラリア】
●アデレード大学
●クィーンズランド大学
●オーストラリア国立大学
●モナシュ大学

【インドネシア】
●バンドン工科大学
●ガジャマダ大学
●インドネシア大学
●アイルランガ大学
★ウダヤナ大学
★アンダラス大学
★アル・ラニーリ・国立イスラーム大学

【ニュージーランド】
★ウェリントン・ヴィクトリア大学

卒業生からのメッセージ

大阪大学大学院

大鋸　瑞穂（2020年卒業 スウェーデン語専攻）

皆さんにはどこか行ってみたい国や、体験してみたいと思う文化はありますか？

数ある国や言語の中からひとつを選び、こうして学び続けていると、不思議な縁の存在を感じるとともに、時折自分の選択に一種の必然性を感じる瞬間があります。ある国の文化や社会に興味を持ち、より知りたいと思うとき、たとえそれが直感的なものであったとしても、そこには恐らく一人一人が持つ問題意識や、あらゆる価値観への問いや、強い共感が結びついていて、むしろそれらは、自らその国の言語や文化を深く学んでいくことで初めてはっきりと自覚できるものなのだと思います。私にとってそれはジェンダーの問題であり女性の生き方に関するものでもありましたが、それに気付いたのも、スウェーデンに留学した際の様々な出来事や、今現在勉強しているスウェーデンの文学作品に、自身の課題を紐解くヒントを見出したのがきっかけです。

外国語学部では言語の習得と同時に、その言語を実践的に使って他者と交流し、あらゆる知識を深めることが出来ますが、そうした環境の中で、私にとってスウェーデン語の学習は自身に対する新たな気付きを与える鍵となって、様々な扉を開いてくれました。外国語を学ぶことは、難しくて大変だと感じることも多いですが、完璧にマスターできなくとも自分にとってひとつ特別な言語を持てたことはとても幸運なことであり、これを読んでいる皆さんにもそうした出会いがあることを願っています。

外務省

阪　凌介（2020年卒業 フィリピン語専攻）

『マイナー言語』を学ぶ。皆さんはどのように思いますか。「就活で苦労しそう」、「学ぶ意味あるの」とネガティブな発言が聞こえてきそうですね。実は、私も高校生の頃までは同じような印象を持っていました。「昨年の合格者平均点が一番低かったから。」これは私が専攻語を選んだ本当の理由です。先生方や特別な思いで志望された方に大変失礼ですが、一部の受験生には現実的ではないでしょうか。

大阪大学外国語学部は特殊な環境です。いわゆる『マイナー言語』を他の主要言語と同じくらい高い水準で専門的に学べる大学は、私の知る限り2つしかありません。また、マイナー言語が専攻語であっても、英語や仏語、西語を体系的に学習する授業もありますし、皆さんの姿勢次第で学びの幅が広がる、非常に恵まれた環境です。また、専攻語やその言語に関連の深い国や地域の文化や社会、政治、経済を深く知るにつれ、知らぬ間にその国や言語にどハマりしていく、またそうなるような授業が展開されます。先生方のその言語・国に対する愛が伝染するのでしょう。

私も例外ではありません。特別な感情などなかったフィリピンですが、外国語学部の4年間を通じて大好きなフィリピンに携われる職業に就きたい、そんな思いが芽生え、外交官という道を選びました。世界には主要言語の通じない場所がたくさんあります。大学でどっぷりハマり、生涯関わりたいと思う、そんな『マイナー言語』に出会ってみませんか。

滋賀県（滋賀県立高等学校英語科教員）

鶴口　篤寛（2020年卒業 英語専攻）

「英語を深く学んで教師になる」という夢を実現させるために英語専攻を選びました。「せっかく阪大に入ったのに教師になるの？」と何度も聞かれましたが、外国語学部で学んだ5年間は私の人生をとても豊かにしてくれましたし、教師になるにあたってとても貴重な時間だったと胸を張って言うことができます。

英語専攻の授業は、英語学、文学、歴史などの多岐にわたります。知的好奇心をくすぐられるものが多く、毎回の授業が楽しみでした。また、他の専攻語の授業や学部共通科目を履修することで、英語以外の新たな知識を得たり、授業内で他の専攻語の人と交流したりして自らの見聞を広げることが出来ました。これらによって、英語への理解を深めつつ、英語の世界を飛び出して、新たな学びにつなげることができました。

また、3年生終了後に阪大の交換留学制度を利用してオーストラリアに留学しました。慣れない海外での生活は困難もたくさんありましたが、日本を出たからこそ経験できたことがとても多く、自らの視野がぐんと広がりました。

外国語学部では、高めあえる友人たち、いつも丁寧にご指導くださる先生方、図書館にある優れた資料に囲まれた素晴らしい環境のもとで勉学に励むことができます。現在は、ここで学んだ様々なことを、今後の教師人生において活かせることを誇りに思いながら、日々働いています。皆さんにもこの素晴らしい環境のもと、心ゆくまで学びを深めてほしいと強く願っています。

株式会社ベネッセスタイルケア

瀬尾　友花（2020年卒業 ベトナム語専攻）

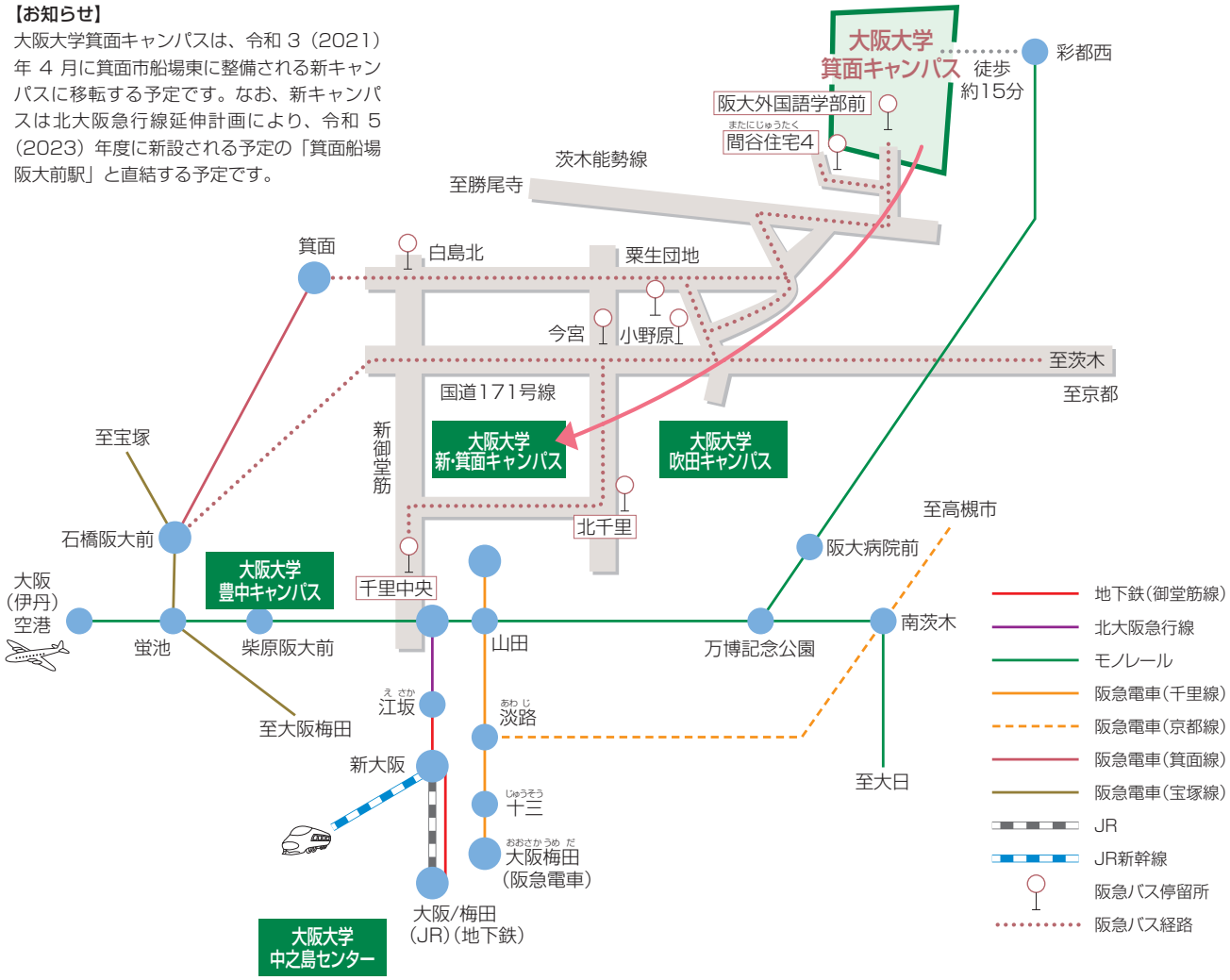
こんにちは！突然ですが、ベネッセスタイルケアという会社をご存知でしょうか。有料老人ホームを運営している会社です。私は今、そこで介護職として働いています。どうして専攻語と関係ない仕事をしているのか。もう少し詳しくお話したいと思います。

ベトナム語は特に強い思い入れはなく選びました。しかし、先生方や先輩方の影響で、ベトナム語をもっと極めたい、と思うようになり、3年生の時に10か月留学しました。留学先で卒業論文の相談をしていたとき、介護を学ぶために日本に来ているベトナム人がいることを知りました。日本人でも難しく感じる介護に挑戦し、苦労しているベトナム人がいる、その人たちをサポートしたい、という思いから、卒業論文はその人たちへの日本語教育をテーマにしました。就職活動でも思いは変わらず、ベトナムにも介護にも携われる会社に絞って探しました。そして、ベトナムで介護人材の育成を進めている今の会社と出会いました。今は、大きなやりがいを感じながら働いています。

長々と自分の話をしましたが…、外国語学部の一番の魅力をお話ししますと、それは【新しい出会い】です。言語との出会い、人との出会い、会社との出会い。私もこの外国語学部で学んだおかげで多くの素晴らしい出会いを得ました。大学での出会いは、皆さんのこれからの人生に非常に大きな影響を与えます。素敵な出会いのあふれる大阪大学外国語学部。目指してみませんか☺

箕面キャンパス
所在地経路図

【お知らせ】
大阪大学箕面キャンパスは、令和３（2021）年４月に箕面市船場東に整備される新キャンパスに移転する予定です。なお、新キャンパスは北大阪急行線延伸計画により、令和５（2023）年度に新設される予定の「箕面船場阪大前駅」と直結する予定です。



最寄り駅から箕面キャンパスまでの経路

- ○北大阪急行線「千里中央駅」
- ○大阪モノレール「千里中央駅」
- ○阪急電鉄（千里線）「北千里駅」
- ○JR（東海道線）「茨木駅」
- ○阪急電鉄（宝塚線）「石橋阪大前駅」
- ○阪急電鉄（箕面線）「箕面駅」

千里中央（「千里中央」発のバスは「北千里」を経由します。）
10分
北千里 ―10分― 小野原 ―15分― 阪大外国語学部前
小野原 ―15分― 間谷住宅4
JR茨木 ―「阪急石橋」行乗車　25分（「小野原」でバス乗換え）― 小野原
阪急石橋 ―「JR茨木」行乗車　25分（「小野原」でバス乗換え）― 小野原
箕　面 ―25分（運行便数は非常に少ないので注意:1時間1便程度）― 間谷住宅4

（※注意）
大阪大学の休業日（土・日・祝・春期／夏期／冬期休業期間）は、「阪大外国語学部前」行きのバス（――線）は運休しますので、「間谷住宅」行きのバス（－－－線）をご利用ください。

平日は、1限から5限の授業時間に合わせて、阪急茨木市駅からJR茨木駅経由のバスを運行しています。
乗車時間は、およそ30分～40分です。

凡　例
- ：阪急バス停留所名
- ：阪急バス「阪大外国語学部前」行き※
- ：阪急バス「間谷住宅」行き※
- ：大阪モノレール
- ：大阪モノレール駅

●大阪モノレール利用の場合

大阪大学箕面キャンパス ―徒歩約15分― 彩都西 ―6分― 阪大病院前 ―5分― 万博記念公園

大阪空港 ―3分― 蛍池（阪急宝塚線連絡） ―10分― 千里中央（北大阪急行線連絡） ―2分― 山田（阪急千里線連絡） ―3分― 万博記念公園 ―6分― 南茨木（阪急京都線連絡） ―11分― 大日（地下鉄谷町線連絡） ―2分― 門真市（京阪電車連絡）

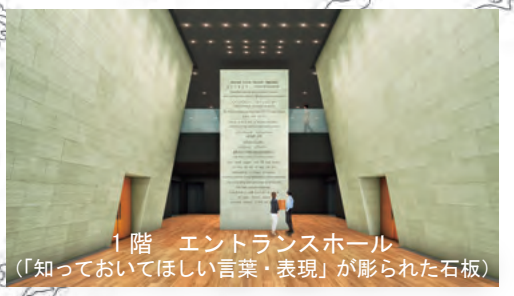
※画像はすべてイメージです

2021年4月。大阪大学創立90周年、大阪外国語大学創立100周年を迎えるこの年に 箕面新キャンパスが誕生いたします。

箕面新キャンパス外観

グローバルキャンパス、世界と市民を結ぶキャンパス これからの百年も大阪に国際人を育てる

箕面キャンパスを、世界の言語と言語を基底とする地域の文化や社会に関する研究の集積拠点へ――――



1階　エントランスホール
（「知っておいてほしい言葉・表現」が彫られた石板）

3階　ピロティ

3階　食堂

5階　学生交流スペース

5・6階　大階段

【お知らせ】

大阪大学箕面キャンパス（外国語学部）は、令和3（2021）年4月に箕面市船場東に整備される新キャンパスへ移転する予定です。（「千里中央駅」から阪急バスで約10分程度乗車）なお、新キャンパスは、北大阪急行線延伸計画により、令和5（2023）年度に新設される予定の「箕面船場阪大前駅」と直結する予定です。

豊中キャンパス、吹田キャンパスの中間に位置し、大阪都心部へもダイレクトにアクセスできます！

大阪大学　外国語学部

大阪大学　外国语学院

오사카대학 외국어학부

ОСАКАГИЙН ИХ СУРГУУЛИЙН ГАДААД ХЭЛНИЙ САЛБАР

FAKULTAS KAJIAN ASING UNIVERSITAS OSAKA

ᏍᏕᏯᏓᏅᏍᏗᏍᏗᏥᏲᏫᏂᏍᏗᏥᏲᏫᏂᏍᏗ

คณะภาษาต่างประเทศ มหาวิทยาลัยโอซากา

KHOA NGOẠI NGỮ, TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUỐC GIA OSAKA

အိုစကာတက္ကသိုလ်နိုင်ငံခြားဘာသာဌာန

ओसाका विश्वविद्यालय विदेशी भाषा संकाय

شعبۂ زبانہائے خارجہ، جامعہ اوساکا

كلية الدراسات الأجنبية جامعة أوساكا

دانشکده مطالعات خارجی دانشگاه اوساکا

OSAKA ÜNİVERSİTESİ YABANCI DİLLER FAKÜLTESİ

CHUO KIKUU CHA OSAKA KITIVO CHA MASOMO YA KIGENI

ФАКУЛЬТЕТ ИНОСТРАННЫХ ЯЗЫКОВ УНИВЕРСИТЕТА ОСАКА

OSZAKAI EGYETEM IDEGENNYELVI KARA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

FAKULTÄT FÜR FREMDSPRACHEN AN DER UNIVERSITÄT OSAKA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITY

FACULTÉ DES LANGUES ÉTRANGÈRES DE L'UNIVERSITÉ D' OSAKA

FACOLTÀ DI LINGUE STRANIERE DELL'UNIVERSITÀ DI OSAKA

FACULTAD DE ESTUDIOS EXTRANJEROS, UNIVERSIDAD DE OSAKA

FACULDADE DE ESTUDOS ESTRANGEIROS, UNIVERSIDADE DE OSAKA

大阪大学 外国語学部　〒562-8558 箕面市粟生間谷東8丁目1番1号　電話（072）730-5069

http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/

令和2年9月作成